

Pioneer

マルチCD/MDコントロールCDチューナーアンブ

DEH-P7700

取扱説明書

carrozzeria

目次 4ページ

安全のために必ずお守りください

絵表示について

この取扱説明書、取付説明書および製品への表示は、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。

表示内容を無視して、誤った使いかたをしたときにおよぼす危害や損害の程度を次の表示で区分し、説明しています。



警告

この表示の欄は、「人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容」を示しています。



注意

この表示の欄は、「人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容」を示しています。

お守りいただく内容の種類を次の絵表示で区分し、説明しています。



注意

このような絵表示は、注意 (警告を含む) しなければならない内容です。



禁止

このような絵表示は、禁止 (やってはいけないこと) の内容です。



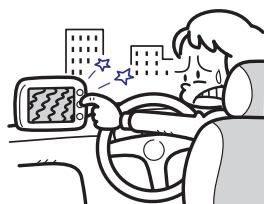
必ず行う

このような絵表示は、必ず行っていただく強制の内容です。

警告

[異常時の処置]

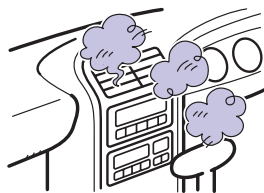
故障のまま使用しない



禁止

画面が映らない、音が出ないなどの故障の状態で使用しないでください。必ずお買い上げの販売店にご相談ください。そのままご使用になると事故・火災・感電の原因となります。

異常のまま使用しない



禁止

万一、煙が出る・変なにおいがする・内部に異物が入った・水がかかったなど異常が起きましたら、ただちに使用を中止し、必ずお買い上げの販売店にご相談ください。そのままご使用になると事故・火災・感電の原因となります。

ヒューズは規定容量のヒューズを使用する



必ず行う

ヒューズを交換するときは、必ず表示された規定容量のヒューズをご使用ください。規定容量以上のヒューズを使用すると、火災の原因となります。

目次

はじめに はじめに

- 1 各部のなまえ 6
- 2 バッテリー上がりを防ぐために 8
- 3 デモモードについて 8
- 4 リモコンの準備 9
- 5 50枚型マルチCDプレーヤーの
使用について 9

ここだけで ここだけ読めばすぐ使えます

- 1 聞きたいソース（音源）を選ぶ 10
- 2 内蔵CDのふだんの操作 12
 - CDを再生する
 - 曲を選ぶ
 - 早送り/早戻しをする
 - 音量を調節する
 - CDを取り出す
- 3 ラジオのふだんの操作 14
 - バンドを選ぶ
 - 放送局を選ぶ
 - 音量を調節する
- 4 マルチCDのふだんの操作 16
 - CDを選ぶ
 - 曲を選ぶ
 - 早送り/早戻しをする
 - 音量を調節する

内蔵CD 内蔵CDでCDを聞く

- 1 モードの切り換えかた 18
- 2 同じ曲を繰り返し聞く 19
- 3 聞きたい曲をさがす 19
- 4 いつもと違う曲順で聞く 20
- 5 CD再生を一時停止する 20
- 6 CDのタイトルを表示させる 21
- 7 「CD TEXT」のタイトルや
歌手名を表示させる 21

ラジオ ラジオを聞く

- 1 放送局を1局ずつ記憶させる 22
- 2 記憶させた放送局を呼び出す 23
- 3 モードの切り換えかた 24
- 4 複数の放送局を自動的に記憶させる 25
- 5 放送局名を変更する 26
- 6 放送局名を表示させる 27

マルチCD マルチCDでCDを聞く

(別売のマルチCDを組み合わせたときのみ)

- 1 聞きたいCDを直接選ぶ(6/12枚) 28
- 2 モードの切り換えかた 29
- 3 同じ曲やCDを繰り返し聞く 30
- 4 聞きたい曲やCDをさがす 31
- 5 いつもと違う曲順で聞く 32
- 6 聞きたい曲だけ記憶させておく 33
- 7 記憶させた曲だけ再生する 34
- 8 記憶させた曲を1曲ずつ記憶から消す 35
- 9 記憶させた曲をCDごとに記憶から消す 35
- 10 CDのタイトルを記憶させる 36
- 11 CDのタイトルを表示させる 38
- 12 「CD TEXT」のタイトルや
歌手名を表示させる 38
- 13 タイトルを見て聞きたいCDをさがす 40
- 14 CD再生を一時停止する 41
- 15 CDの音質を調整する 42

音の調節 音を調節する

- 1 瞬時に音量を小さくする 44
- 2 イコライザーカーブを選ぶ 44
- 3 オーディオ調節モードの切り換えかた 45
- 4 小音量時の音にメリハリをつける 45

C O N T E N T S

ここだけ読めば
すぐ使えます

すぐに使いたいときは、
ここをお読みください。

5	前後左右の音量バランスを調節する	46
6	サブウーファースの接続方法に 合わせて設定する	47
7	サブウーファースを使う	48
8	低い音をスピーカーから 出力させないようにする	50
9	外部アンプなどで サブウーファースを調節する	51
10	お好みに合わせてイコライザー カーブを調節する	52
11	イコライザーカーブを細かく調節する	53
12	各ソースの音量の違いをそろえる	54
13	前にステージがあるような感じにする	55

はじめに

内蔵CDでCDを聞く

ラジオを聞く

マルチCDでCDを聞く

音を調節する

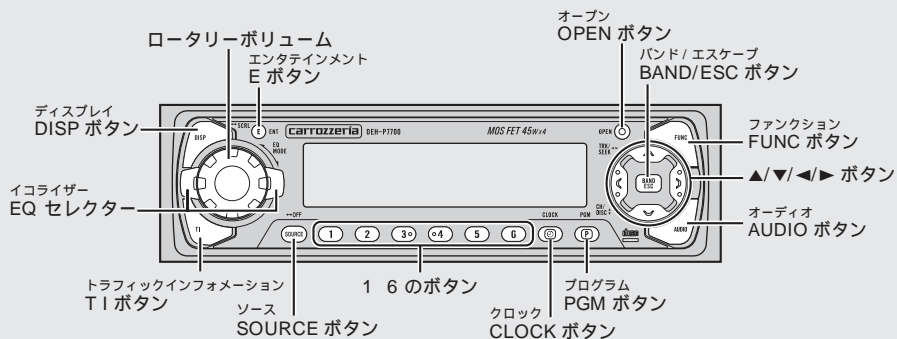
その他の機能と付録

その他

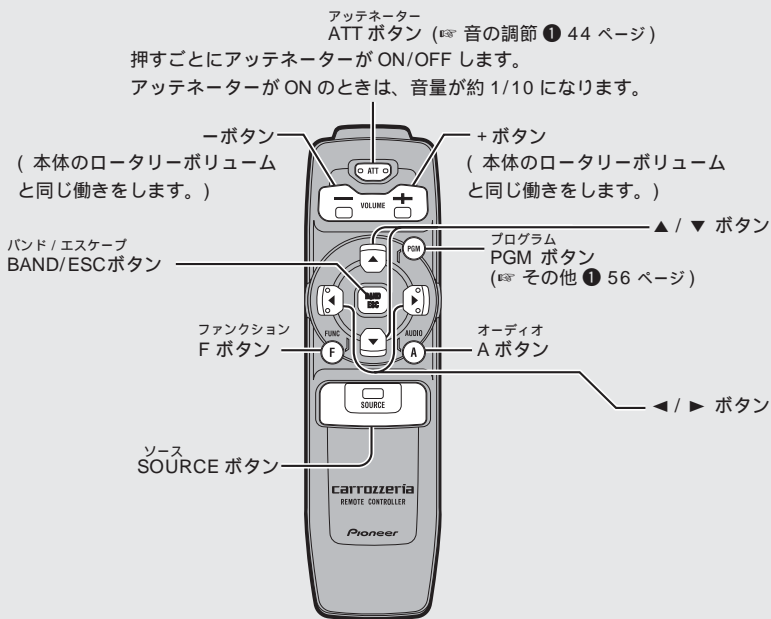
その他の機能と付録

1	よく使う機能を学習させる	56
2	時計を表示させる	57
3	交通情報を受信する	58
4	初期設定モードの切り換えかた	59
5	時計を合わせる	59
6	外部機器の音声を聞く	60
7	外部機器の名称を入力する	61
8	夜間のディスプレイの 明るさを切り換える	61
9	ディスプレイの明るさを調節する	62
10	リアスピーカーの出力方法を変える	62
11	サブウーファースの調節先を選ぶ	63
12	背景の設定をする	63
13	エンタテインメントを表示させる	64
14	携帯電話のハンズフリー機能について	64
15	TELスタンバイについて	65
16	ミュート機能について	65
17	CDの正しい使いかた	66
18	故障かな?と思ったら	68
19	こんなメッセージが表示されたら	70
20	保証書とアフターサービス	71
21	本機の操作の概要	72
22	おもな仕様	74

本体



リモコン



PGM ボタンについて

よく使う機能をソースごとに、PGM ボタンに学習させることができます。学習させた機能は、モードを切り換えなくても操作できるようになります。(初期設定では、内蔵 CD でポーズ、ラジオで BSM、マルチ CD でポーズが学習されています。)(※ その他 ① 56 ページ)

はじめに

2

バッテリー上がりを防ぐために

バッテリー上がりを防ぐためのご注意

本機を使用するときは、必ず車のエンジンをかけてください。また、本機が電源OFFのときでも、車のエンジンを止めた状態で、長時間、車のエンジンスイッチをON(またはACC)にしないでください。バッテリー上がりの原因になります。

車のエンジンを止めた状態で、フィーチャーデモを長時間表示すると、バッテリー上がりの原因になります。

はじめに

3

デモモードについて

本機には、リバースデモとフィーチャーデモの2つのデモモードがあります。

リバースデモについて

リバースデモは、各ソースを聞いているときに約30秒間操作しないと画面が自動的に反転する機能です。反転は、10秒間隔で行われます。

リバースデモを解除したいときは、車のイグニッションスイッチがON(またはACC)のときに本機の電源をOFFにして5のボタンを押してください。もう一度押すと、デモがONになります。

フィーチャーデモについて

フィーチャーデモは、本機が電源OFFのときに、各ソースや本機の機能(アクアティックブルーやナスカなど)の画面を表示する機能です。

フィーチャーデモをONにしたいときは、6のボタンを押してください。もう一度押すと、デモが解除されます。

車のエンジンを止めた状態で、フィーチャーデモを長時間表示すると、バッテリー上がりの原因になります。

メモ

赤リード線(アクセサリ電源)は、常に車のバッテリーから電源を供給する電源回路には接続しないでください。車のイグニッションスイッチと本機の電源をOFFにしても、フィーチャーデモが表示され、バッテリー上がりの原因になります。

はじめに

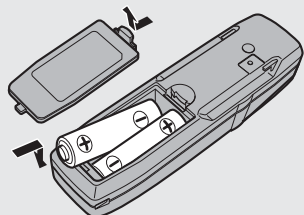
4

リモコンの準備

付属のリモコンを使うための準備です。

リモコンに電池を入れる

裏フタを開けて、単4形乾電池 (R03) 2本をセットします。



リモコンの操作可能範囲が狭くなったときは、新しい電池と交換してください。

リモコン取り扱い上のご注意

リモコンを直射日光の当たるところに長時間放置すると、高温により変形・変色したり、故障する恐れがあります。使用しないときは、直射日光の当たらないところに保管してください。

本体に直射日光が当たっていると、リモコンの操作ができないときがあります。このようなときは、本体にリモコンを近づけて操作してください。

乾電池は、充電しないでください。

リモコンを長い間使わないときは、電池を取り出してください。

電池の液もれが起こったときは、内部についた液をよくふき取ってから、新しい電池と入れ換えてください。

メモ

誤ってリモコンのBAND/ESCボタンを押しながらFボタンを押してしまうと、+ボタンと-ボタン、PGMボタン、ATTボタンが効かなくなります。この場合、リモコンのBAND/ESCボタンを押しながらAボタンを押すと、元に戻ります。

はじめに

5

50枚型マルチCDプレーヤーの使用について

50枚型マルチCDプレーヤーをご使用になる場合のご注意

本機では、50枚型マルチCDプレーヤーの取扱説明書に記載されている50枚型マルチCDプレーヤー特有の機能を操作することはできません。本機で操作できるのは、本書に記載されている機能のみです。

聞きたいソース (音源) を選ぶ

聞きたいソース (音源) に切り換えることができます。

1 ソースを切り換える

SOURCE ボタンを押す

ボタンを押すごとに次のように切り換わります。

内蔵CD

テレビ (別売)

ラジオ (FM/AM)

1 枚型 MD (別売)

マルチ MD (別売)

マルチ CD (別売)

External1 *1
(エクスターナルユニット 1) (別売)

External2 *1
(エクスターナルユニット 2) (別売)

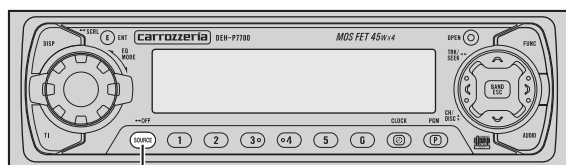
AUX (外部機器) (別売)

TEL スタンバイ

内蔵CDに戻る

2 電源を切る

SOURCE ボタンを 1 秒以上押す
本機の電源が切れます。

ソース
SOURCE ボタン

メモ

接続していないソースには切り換わりません。
CDやMDがセットされていないときは、その
ソースには切り換わりません。

AUX (外部機器) の設定 (☞ 他 60 ページ) を
ONにしないと、AUXには切り換わりません。

TELスタンバイの設定 (☞ 他 64 ページ) を
ONにしないと、TELスタンバイには切り換わり
ません。

本機の青リード線 (オートアンテナ) に車側のオ
ートアンテナコントロール端子を接続している場合、
ソースをラジオにすると車に装備されているオート
アンテナがのびます。

*1 External (エクスターナルユニット) とは、本機が
ソースとして対応していないパイオニア製品 (将来
発売される製品など) の基本的な機能をコント
ロールできるように用意している特別なソースで
す。本機では、2台のExternal (エクスターナルユ
ニット) をコントロールすることができますが、
External1、External2のどちらに切り換えても
“External”が表示されます。2台のExternal (エク
スターナルユニット) を接続した場合、本機に
よって、External1、External2が自動的に設定さ
れます。

テレビ、1枚型MD、マルチMD
を接続したときは

操作のしかたは、それぞれの取扱説明書
をご覧ください。

組み合わせ例

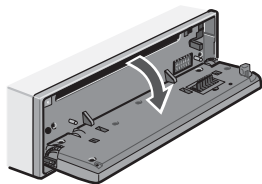
ソース	製品の型番
テレビ	「AVX-P7000W」
1枚型MD	「MDS-P7000」
マルチMD	「MD-P100II」

上記の製品の取扱説明書では、本機以外
の製品を例にして、操作説明が行われて
いる場合があります。その製品と対応し
ているボタンで操作を行ってください。

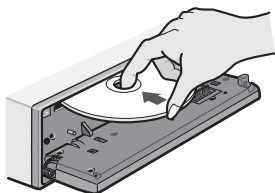
ここだけの操作で、CDを聞くことができます。

1 CDを再生する

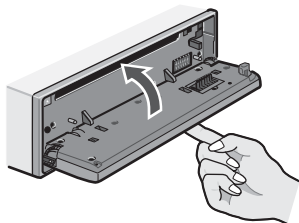
OPEN ボタンを押して、フロントパネルを開ける



タイトル面を上にして、挿入口に差し込む



フロントパネルを閉める



CDの再生が始まります。

ご注意

CDシングル(8 cm CD)もアダプターなしでセットできます。アダプターは絶対使用しないでください。

2 聞きたい曲を選ぶ (または早送り/早戻し)

◀または▶ ボタンを押す

- ▶ : 次の曲を選ぶとき (または早送り)
- ◀ : 前の曲を選ぶとき (または早戻し)



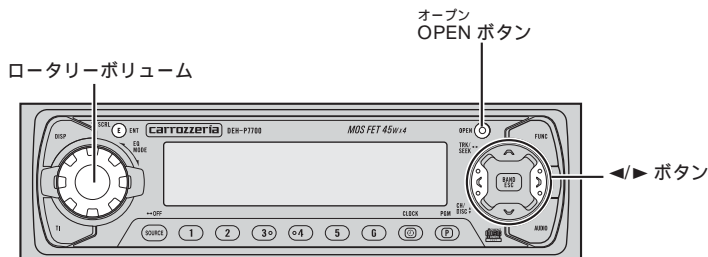
再生経過時間 曲番号

選曲と早送り/早戻しの使い分け

聞きたい曲の選択	0.5秒未満
曲の早送り/早戻し	0.5秒以上押し 続けている間

メモ

CDをセットしたまま電源をOFFにしたり、他のソース(ラジオやマルチCDなど)に切り換えることもできます。(☞ ここだけで 10 ページ)



3 音量を調節する

ロータリーボリュームを押して、ロータリーボリュームを出す

ロータリーボリュームを回して、音量を調節する

右回し：大きくするとき

左回し：小さくするとき



0 ~ 62の範囲で調節できます。

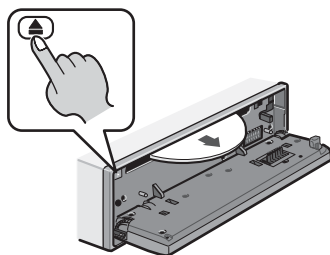
約4秒間、音量が表示されます。

4 CDを取り出してCD再生をやめる

フロントパネルを開けてから (E37 手順1)

▲ボタンを押す

CDが出てきます。



出てきたCDはすぐに取り出して、保管してください。

フロントパネルを閉める (E37 手順1)

CD挿入口にゴミやホコリが入るのを防ぐためフロントパネルを閉めてください。

ここだけの操作で、ラジオを聞くことができます。

1 ソースを ラジオにする

SOURCE ボタンを押す

ラジオを受信します。



ステレオ放送を受信すると表示されます。

2 バンドを 選ぶ

BAND/ESC ボタンを押す

ボタンを押すごとに、次のようにバンドが切り換わります。

FM1 FM2 AM1 AM2

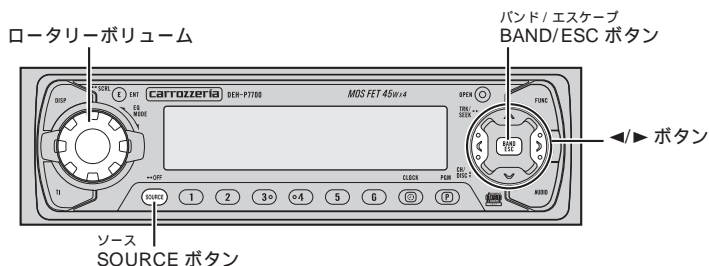


選んだバンドが表示されます。

バンドごとに放送局を6局ずつ記憶できます。(ラジオ 22ページ)

バンド1とバンド2を切り換えて使うことでより多くの放送局を記憶できます。例えば、バンド1にはふだんよく聞く放送局を記憶させておきます。旅行先など、どんな放送局があるか知らない地域に行ったときに、バンド2に切り換えてBSMを使うと、バンド1に記憶させた放送局はそのままお使いになれます。

ここだけ読めば
すぐ使えます



3 放送局を 選局する

◀または▶ ボタンを押す

▶ : 高い周波数の放送局を選局するとき

◀ : 低い周波数の放送局を選局するとき



放送局名 受信周波数

選局方法の使い分け

手動選局 (1ステップずつ) 0.5秒未満

自動選局 0.5秒以上

0.5秒以上押し続けている間、途中の放送局をとばすことができます。ボタンを離れたところから自動選局を開始します。電波の強い放送局を選局するには、自動選局を、電波の弱い放送局を選局するには、手動選局をおすすめします。本機は、あらかじめ放送局名を記憶しています。ディスプレイに表示されている放送局名と受信している放送局名が異なるときは、受信している放送局名に変更することができます。(※ ラジオ⑤ 26ページ)

4 音量を 調節する

ロータリーボリュームを押して、ロータリーボリュームを出す

ロータリーボリュームを回して、音量を調節する

右回し: 大きくするとき

左回し: 小さくするとき



0 ~ 62の範囲で調節できます。

約4秒間、音量が表示されます。

5 ラジオの 受信をやめる

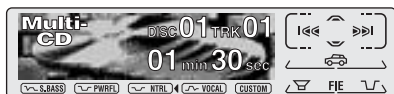
他のソースに切り換えるか、電源OFFにする (※ ここだけで① 10ページ)

ここだけの操作で、マルチCDプレーヤーでCDを聞くことができます。

1 ソースを マルチCDにする

SOURCE ボタンを押す

マルチCDの再生が始まります。



2 聞きたいCDを 選ぶ

▲または▼ボタンを押す

▲ : 次のCDを選ぶとき

▼ : 前のCDを選ぶとき



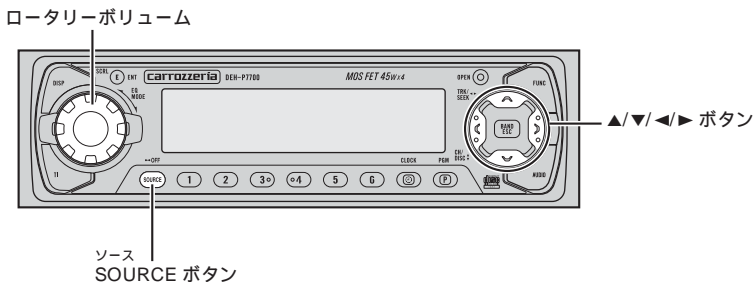
CD番号

メモ

マルチCDが準備動作 (CDの有無の確認やCDの情報の読み込みなど) をしている場合があります。このとき、ソースをマルチCDに切り換えると“Ready”が表示されます。

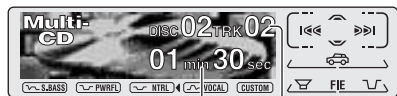
マルチCD再生中にマルチCDからマガジンを取り出すと、“NO MAGAZINE”が表示されます。

ここだけ読めば
すぐ使えます



3 聞きたい曲を選ぶ (または早送り/早戻し)

- ◀または▶ ボタンを押す
- ▶ : 次の曲を選ぶとき (または早送り)
- ◀ : 前の曲を選ぶとき (または早戻し)



再生経過時間 曲番号

選曲と早送り/早戻しの使い分け

聞きたい曲の選択	0.5秒未満
曲の早送り/早戻し	0.5秒以上押し 続けている間

4 音量を 調節する

ロータリーボリュームを押して、ロータリーボリュームを出す

ロータリーボリュームを回して、音量を調節する

右回し: 大きくするとき
左回し: 小さくするとき

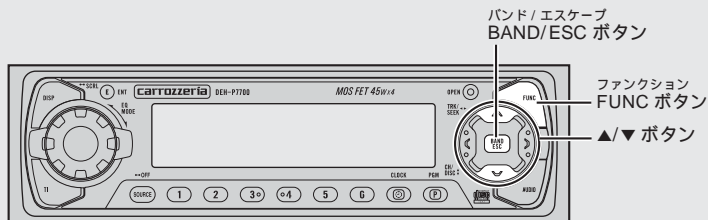


0 ~ 62の範囲で調節できます。

約4秒間、音量が表示されます。

5 マルチCD再生を やめる

他のソースに切り換えるか、電源OFFにする (E 24 25) ここだけで① 10ページ



内蔵CD
1

モードの切り換えかた

ふだんの操作以外の便利な機能を使うときは、モードを切り換えて操作します。

ファンクションモードの切り換え

1 ファンクションモードを切り換える

FUNC ボタンを押す
ボタンを押すごとに次のように切り換わります。

リピートモード (☞ 内蔵CD②)

ランダムモード (☞ 内蔵CD④ 20 ページ)

スキャンモード (☞ 内蔵CD③)

ポーズモード (☞ 内蔵CD⑤ 20 ページ)

リピートモードに戻る

メモ

ファンクションモードを解除するには、BAND/ESC ボタンを押します。(約 30 秒間、何も操作しなかったときも、自動的に解除されます。)

詳細設定モードの切り換え

1 詳細設定モードにする

FUNC ボタンを 2 秒以上押す

2 詳細設定モードを切り換える

FUNC ボタンを押す
ボタンを押すごとに次のように切り換わります。

タイトル入力モード (☞ 内蔵CD⑥ 21 ページ)

プログラムファンクション設定モード
(☞ その他① 56 ページ)

タイトル入力モードに戻る

メモ

詳細設定モードを解除するには、BAND/ESC ボタンを押します。

「CD TEXT」を再生しているときは、タイトル入力モードに切り換わりません。(「CD TEXT」にあらかじめ記憶されている CD タイトルは変更できません。)

内蔵CD

2

同じ曲を繰り返し 聞く

リピート再生

今聞いている曲を繰り返し聞くことができます。

1 リピートモードにする

FUNC ボタンを押して選ぶ

(内蔵CD)



2 リピート再生をONにする

▲ ボタンを押す (▼ボタンでOFF)



今聞いている曲を繰り返し再生します。

BAND/ESC ボタンを押して、ファンクションモードを解除してください。



リピート再生中に表示されます。

内蔵CD

3

聞きたい曲をさがす

スキャン再生

曲の始めの部分だけを、約10秒間ずつ徐々に聞くことができます。

1 スキャンモードにする

FUNC ボタンを押して選ぶ

(内蔵CD)



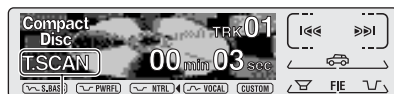
2 スキャン再生を始める

▲ ボタンを押す



曲の始めの約10秒間が徐々に再生されます。

スキャン再生を始めて約30秒たつと、自動的にファンクションモードが解除されます。



スキャン再生中に表示されます。

3 聞きたい曲が再生されたら スキャン再生を解除する

確認

ファンクションモードが解除されていたら、手順1の操作を行ってもう一度スキャンモードにしてから、スキャン再生を解除してください。

スキャンモードのときに▼ボタンを押す

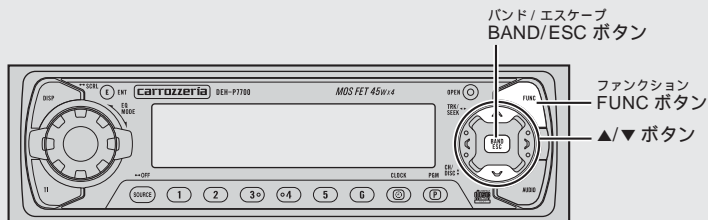


BAND/ESC ボタンを押して、ファンクションモードを解除してください。

メモ

スキャン再生を始めた曲まで戻るとスキャン再生は解除されます。

内蔵CDでCDを聞く



内蔵CD
4

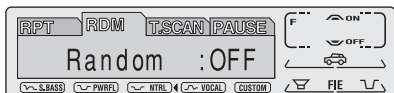
いつもと違う曲順で聞く

ランダム再生

選曲をCDプレーヤーにまかせて、いつもと違う曲順(ランダム)で再生することができます。

1 ランダムモードにする

FUNC ボタンを押して選ぶ
(内蔵CD 18 ページ)



2 ランダム再生をONにする

▲ ボタンを押す (▼ ボタンでOFF)



次の曲から、ランダムに選曲します。

BAND/ESC ボタンを押して、ファンクションモードを解除してください。



ランダム再生中に表示されます。

内蔵CD
5

CD再生を一時停止する

ポーズ

CD再生を一時停止することができます。

1 ポーズモードにする

FUNC ボタンを押して選ぶ
(内蔵CD 18 ページ)



2 CD再生を一時停止する

▲ ボタンを押す (▼ ボタンで再生)



BAND/ESC ボタンを押して、ファンクションモードを解除してください。



一時停止中に表示されます。

CDのタイトルを表示させる

ディスクタイトル表示

CDのタイトルを表示させることができます。

タイトル表示について

タイトル表示は、CDのタイトルを入力して記憶させておき、ディスプレイに表示させる機能です。

タイトルの記憶のしかた (☞ マルチCD⑩ 36ページ)、タイトルの表示のしかた (☞ マルチCD⑪ 38ページ) は、マルチCDと同じです。

「CD TEXT」には、タイトルを入力することはできません。そのため、「CD TEXT」を再生中に手順2の操作を行っても、タイトル入力モードには切り換わりません。

タイトルは10文字まで入力できます。

内蔵CDのタイトルは、48枚分の記憶ができます。

48枚を超えたときは、いちばん古いCDの記憶が消されて、新しいCDが記憶されます。

記憶させたタイトルは、CDを取り出しても消えません。

マルチCDを組み合わせて使うときは、最大100枚分のタイトルを記憶することができます。100枚を超えたときは、いちばん古いCDの記憶が消されて新しいCDが記憶されます。

本機はカナやアルファベットなどの半角文字だけでなく、ひらがなや漢字などの全角文字にも対応しています。「CD TEXT」に漢字などの全角文字の情報が収録されている場合でも、本機ではそのまま表示することができます。

1 タイトルを入力したいCDを再生する (☞ ここだけで② 12ページ)

2 タイトル入力モードにする

FUNC ボタンを2秒以上押してから、FUNC ボタンを押して選ぶ (☞ 内蔵CD① 18ページ)

3 CDタイトルを入力し、記憶させる (☞ マルチCD⑩ 36ページ)

マルチCDのタイトル入力の手順3～5を参照し、同じ操作で記憶させてください。

メモ

タイトルが入力されていないCDで表示を切り換えると“NO TITLE”が表示されます。

「CD TEXT」のタイトルや歌手名を表示させる

タイトル表示 / タイトルスクロール

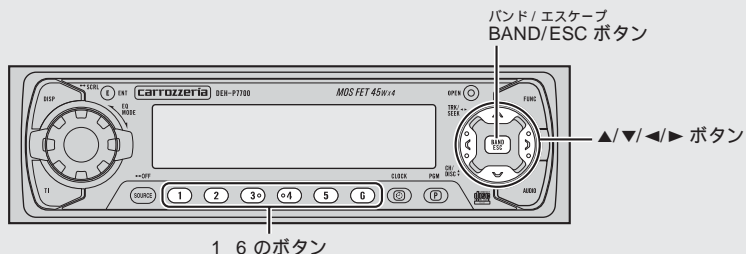
本機に「CD TEXT」をセットしたとき、Track Title (曲名) や Track Artist (歌手名) などを表示させることができます。全角で10文字、半角で20文字まで表示することができます。また、隠れている文字を順に表示させることもできます。

「CD TEXT」について

「CD TEXT」とは、CDのタイトル/歌手名/曲名などの文字情報が収録されたCDです。ディスクタイトル面に下記マークのついているCDは、「CD TEXT」です。(下記マークが付いていない「CD TEXT」もあります。)



タイトルの表示のしかた、隠れているタイトルの表示のしかたは、マルチCD (☞ マルチCD⑫ 38ページ) と同じです。

ラジオ
1

放送局を1局ずつ記憶させる

プリセットメモリー

1～6のボタンに、お好みの放送局を、1局ずつ手で記憶させることができます。

1 記憶させるバンドを選ぶ

BAND/ESC ボタンを押す
(☞ ここだけで③ 14ページ)

2 記憶させたい放送局を選局する

◀または▶ ボタンを押す
(☞ ここだけで③ 14ページ)

3 記憶させる

1～6のボタンの1つを2秒以上押す



押したボタンの番号 (記憶番号) が点滅します。



記憶が終わると点滅が終わり、押したボタンに受信中の放送局が記憶されます。

メモ

記憶させた放送局を呼び出すには (☞ ラジオ②)

記憶させた放送局を呼び出す

プリセットチューニング

記憶させた放送局は、簡単に呼び出すことができます。

1 記憶させたバンドを選ぶ

BAND/ESC ボタンを押す

( ここだけで  14 ページ)

2 記憶させた放送局を呼び出す

記憶させた放送局を直接呼び出す

1 ~ 6 のボタンの1つを押す

記憶させた放送局を順番に呼び出す

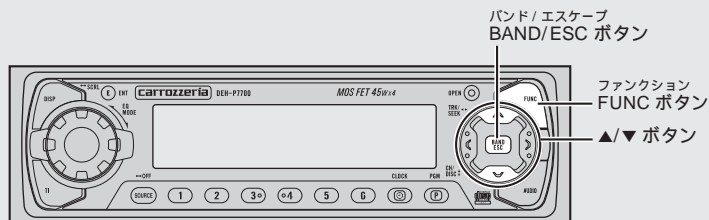
▲または▼ボタンを押す

▲：次の記憶番号の放送局を呼び出すとき

▼：前の記憶番号の放送局を呼び出すとき



受信周波数 受信中の記憶番号

ラジオ
3

モードの切り換えかた

ふだんの操作以外の便利な機能を使うときは、モードを切り換えて操作します。

ファンクションモードの切り換え

1 ファンクションモードを切り換える

FUNC ボタンを押す
BSM モードになります。
(ラジオ④)

メモ

ファンクションモードを解除するには、BAND/ESC ボタンを押します。(約 30 秒間、何も操作しなかったときも、自動的に解除されます。)

詳細設定モードの切り換え

1 詳細設定モードにする

FUNC ボタンを 2 秒以上押す

2 詳細設定モードを切り換える

FUNC ボタンを押す
ボタンを押すごとに次のように切り換わります。

放送局名選択モード (ラジオ⑤ 26 ページ)

プログラムファンクション設定モード
(その他① 56 ページ)

放送局名選択モードに戻る

メモ

詳細設定モードを解除するには、BAND/ESC ボタンを押します。

受信状態の良い放送局をさがして、自動的に1～6のボタンに記憶させることができます。

1 記憶させるバンドを選ぶ

BAND/ESC ボタンを押す

(☞ ここだけで③ 14 ページ)

2 BSM モードにする

FUNC ボタンを押す



3 BSM を始める

▲ ボタンを押す (▼ ボタンで途中解除)



記憶が終わると、1のボタンに記憶した放送局を受信します。

BAND/ESC ボタンを押して、ファンクションモードを解除してください。



受信周波数 受信中の記憶番号

メモ

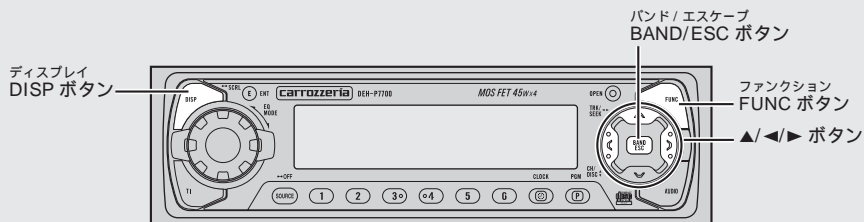
受信状態の良い放送局が、6局より少ないときは、前の記憶が残ることがあります。

BSMとは、Best Stations Memory (ベストステーションズメモリー)の略です。

バンド1とバンド2を切り換えて使うことでより多くの放送局を記憶できます。例えば、バンド1にはふだんよく聞く放送局を記憶させておきます。旅行先など、どんな放送局があるか知らない地域に行ったときに、バンド2に切り換えてBSMを使うと、バンド1に記憶させた放送局はそのまま使いになれます。

記憶させた放送局を呼び出すには (☞ ラジオ② 23 ページ)

BSMは、PGMボタンで操作することもできます (☞ その他① 56 ページ)

ラジオ
5

放送局名を変更する

放送局名変更

ディスプレイに表示されている放送局名が、受信している放送局名と異なるときは、放送局名を変更することができます。

放送局名について

同じ周波数でも、地域によって受信する放送局は違うことがあります。(例:FM 80.0MHzを使用している放送局は“TOKYO FM”“FM青森”“FM福岡”など複数あります。)

本機には、あらかじめ放送局名が記憶されています。ディスプレイに表示されている放送局名が受信している放送局名と異なるような場合は、放送局名を変更して表示することができます。

(例:福岡でFM80.0MHzに周波数をあわせた場合、“FM福岡”を受信しますが、本機の初期設定のままお使いになると、表示は“TOKYO FM”となります。このようなときは以下の手順で放送局名を変更することができます。)

1 記憶させるバンドを選ぶ

BAND/ESC ボタンを押す
(☞ ここだけで④14ページ)

2 記憶させたい放送局を選局する

◀または▶ ボタンを押す
(☞ ここだけで④14ページ)

3 放送局名選択モードにする

FUNC ボタンを2秒以上押してから、FUNC ボタンを押して選ぶ (☞ ラジオ③ 24ページ)



記憶させた放送局名を表示させることができます。

4 放送局名を選ぶ

◀ または ▶ ボタンを押す

▶ : 次の放送局名を選ぶとき

◀ : 前の放送局名を選ぶとき



受信中の周波数に該当する放送局名を表示します。

注意

本機に登録されていない放送局名は選べません。

5 放送局名を記憶させる

▲ ボタンを押す



BAND/ESC ボタンを押して、詳細設定モードを解除してください。

メモ

選んだ周波数に該当する放送局名が登録されていないと、“No Data”と表示されます。

放送局名を表示させたくないときは、“ _ _ _ _ _ ”(全て空白)を選んでください。

パイオニア製のFMモジュレータータイプのマルチCD(「CDX-FM653など」)をお使いの方は、モジュレーター周波数に合わせると、放送局名を“FM M-CD”に変更して表示することができます。

パイオニア製のTVをFMモジュレーターでお使いの方は、モジュレーター周波数に合わせると、放送局名を“TVsound”に変更して表示することができます。

7 表示を切り換える

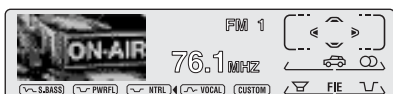
DISP ボタンを押す

受信周波数/放送局名表示



記憶された放送局名が表示されます。

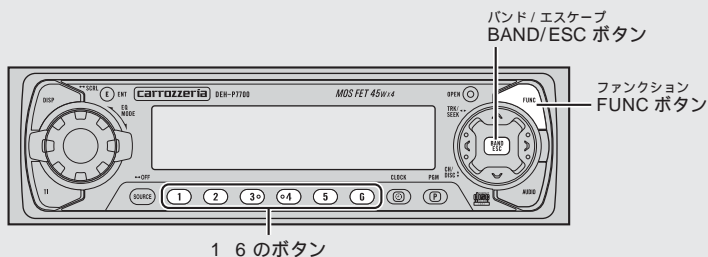
受信周波数



受信周波数/放送局名表示に戻る

メモ

放送局名が記憶されていない周波数は、“No Data”と表示されます。



マルチCD
1

聞きたいCDを 直接選ぶ (6/12枚)

ダイレクトサーチ

聞きたいCDにワンタッチで切り換えることができます。

チェック 6連奏/12連奏マルチCDプレーヤーの機能です。

1 聞きたいCDを選ぶ

1～6のボタンを押す

2秒未満：1～6枚目のCDを選ぶとき

2秒以上：7～12枚目のCDを選ぶとき



CD番号

モードの切り換えかた

ふだんの操作以外の便利な機能を使うときは、モードを切り換えて操作します。

ファンクションモードの切り換え

1 ファンクションモードを切り換える

FUNCボタンを押す

ボタンを押すごとに次のように切り換わります。

リピートモード (☞ マルチCD ③ 30ページ)

タイトルリストモード

(☞ マルチCD ⑬ 40ページ)

ランダムモード (☞ マルチCD ⑤ 32ページ)

スキャンモード (☞ マルチCD ④ 31ページ)

ITS再生モード (☞ マルチCD ⑦ 34ページ)

ポーズモード (☞ マルチCD ⑭ 41ページ)

COMP切り換えモード

(☞ マルチCD ⑮ 42ページ)

リピートモードに戻る

メモ

ファンクションモードを解除するには、BAND/ESCボタンを押します。(約30秒間、何も操作しなかったときも、自動的に解除されます。)

詳細設定モードの切り換え

1 詳細設定モードにする

FUNCボタンを2秒以上押す

2 詳細設定モードを切り換える

FUNCボタンを押す

ボタンを押すごとに次のように切り換わります。

タイトル入力モード

(☞ マルチCD ⑩ 36ページ)

ITS入力モード (☞ マルチCD ⑥ 33ページ)

プログラムファンクション設定モード

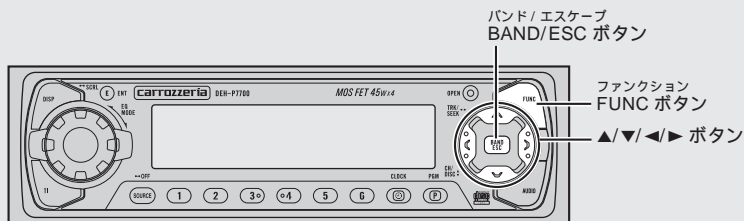
(☞ その他 ① 56ページ)

タイトル入力モードに戻る

メモ

詳細設定モードを解除するには、BAND/ESCボタンを押します。

「CD TEXT」に対応しているマルチCD (「CDX-P650」など) で「CD TEXT」を再生しているときは、タイトル入力モードに切り換わりません。(「CD TEXT」にあらかじめ記憶されているCDタイトルは変更できません。)



マルチCD 3 同じ曲やCDを繰り返し聞く

リピート再生

今聞いている曲を繰り返し聞いたり、1枚のCDを繰り返し聞くなど、繰り返し再生する範囲を選ぶことができます。

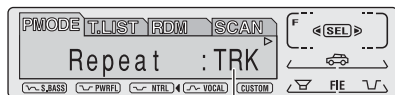
再生範囲について

再生範囲（繰り返し聞く範囲）は、次の中から選ぶことができます。

再生範囲	リピート再生の内容
トラックリピート	再生中の曲を繰り返し再生します。
ディスクリピート	再生中のCDを繰り返し再生します。
マルチCDリピート	マルチCDにセットされているすべてのCDを通して再生します。（通常はこのモードにしておきます。）

2 再生範囲を切り換える

◀または▶ボタンを押す
ボタンを押すごとに次のように切り換わります。



TRK (トラックリピート)

DISC (ディスクリピート)

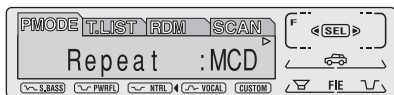
MCD (マルチCDリピート)

TRKに戻る

1 リピートモードにする

FUNCボタンを押して選ぶ

(☞ マルチCD ② 29ページ)



BAND/ESCボタンを押して、ファンクションモードを解除してください。



選んだ再生範囲が表示されます。

聞きたい曲やCDをさがす

トラックスキャン再生 / ディスクスキャン再生

今聞いているCDの、曲の始めの部分だけを、約10秒間ずつ次々に聞くことができます。また、すべてのCDの、1曲目の始めの部分だけを次々に聞くこともできます。

1 リピートモードにして 再生範囲を選ぶ (E3 マルチCD③)

聞きたい曲をさがすとき
(トラックスキャン再生)

◀または▶ ボタンを押してディスク
リピートにする

再生中のCDの全曲を、約10秒ずつ再生で
きます。

聞きたいCDをさがすとき
(ディスクスキャン再生)

◀または▶ ボタンを押してマルチCD
リピートにする

マルチCDのマガジン内すべてのCDの1曲目
だけを、約10秒ずつ再生できます。



スキャン再生中に表示されます。

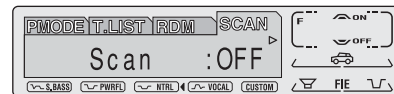
表示 (スキャン再生の種類)	再生範囲
T.SCAN	ディスクリピート
D.SCAN	マルチCDリピート

4 聞きたい曲 (CD) が再生されたら スキャン再生を解除する

確認

ファンクションモードが解除されていたら、手順2
の操作を行ってもう一度スキャンモードにしてか
ら、スキャン再生を解除してください。

スキャンモードのときに▼ボタンを押す



BAND/ESCボタンを押して、ファンクシ
ョンモードを解除してください。

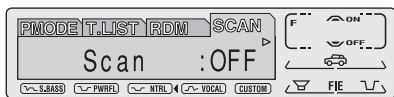
メモ

スキャン再生を始めた曲 (またはCD) まで戻ると、
スキャン再生は解除されます。

トラックリピートのときに、スキャン再生をONに
すると、再生範囲がディスクリピートに切り換わ
りスキャン再生します。

2 スキャンモードにする

FUNCボタンを押して選ぶ
(E3 マルチCD② 29ページ)



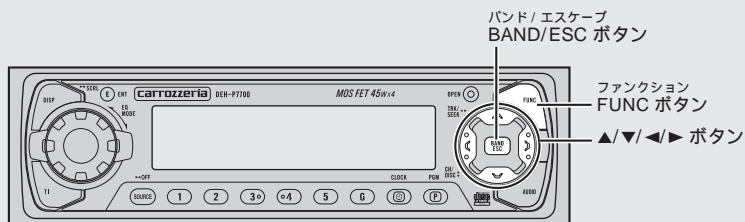
3 スキャン再生を始める

▲ ボタンを押す



曲の始めの約10秒間が次々に再生されます。

スキャン再生を始めて約30秒たつと、自動
的にファンクションモードが解除されます。



マルチCD 5 いつもと違う曲順で聞く

ランダム再生

選曲をマルチCDにまかせて、いつもと違う曲順 (ランダム) で再生することができます。

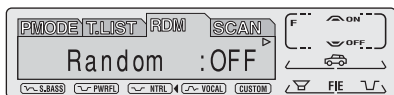
1 リpeatモードにして再生範囲を選ぶ

(☞ マルチCD 30ページ)

選んだ再生範囲内でランダム再生が行われます。

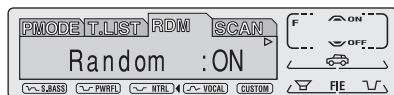
2 ランダムモードにする

FUNCボタンを押して選ぶ
(☞ マルチCD 29ページ)



3 ランダム再生をONにする

▲ボタンを押す (▼ボタンでOFF)



次の曲から、ランダムに選曲します。

BAND/ESCボタンを押して、ファンクションモードを解除してください。



ランダム再生中に表示されます。

表示	再生範囲
D.RANDOM	ディスクリピート
RANDOM	マルチCDリピート

メモ

トラックリピートのときに、ランダム再生をONにすると、再生範囲がディスクリピートに切り換わりランダム再生します。

記憶させた曲だけ再生する (※ マルチCD⑦ 34ページ) ために、あらかじめ聞きたい曲をマルチCDに記憶させておきます。

ITSについて

ITSとは、Instant Track Selection (インスタントトラックセレクション) の略です。

ITSは、聞きたい曲だけを記憶させておき、それを再生する (※ マルチCD⑦ 34ページ) 機能です。

曲の記憶はCDごとに行われます。CDを入れ替えても、そのCDの記憶は消えません。

CD1枚につき24曲まで記憶できます。(25曲以上収録されているCDでは、25曲目以降に収録されている曲は記憶できません。)

ITSは、タイトル (※ マルチCD⑩ 36ページ) と合わせてCD100枚分の記憶ができます。

100枚を超えたときは、いちばん古いCDの記憶が消されて、新しいCDが記憶されます。

1 記憶させたいCDを再生する

▲または▼ボタンを押す

(※ ここだけで④ 16ページ)

2 ITS入力モードにする

FUNCボタンを2秒以上押してから、FUNCボタンを押して選ぶ (※ マルチCD② 29ページ)



3 記憶させたい曲を選ぶ

◀または▶ボタンを押す

(※ ここだけで④ 16ページ)

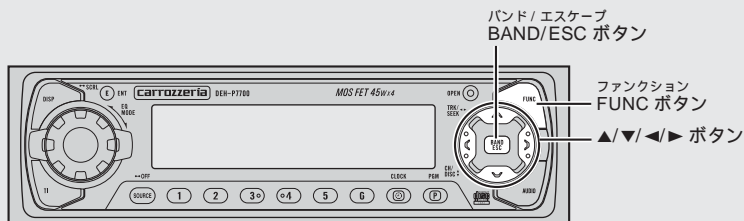
4 記憶させる

▲ ボタンを押す



約2秒間表示され、記憶したことを知らせます。

BAND/ESCボタンを押して、詳細設定モードを解除してください。



マルチCD
7

記憶させた曲だけ再生する

ITS再生

ITS記憶 (☞ マルチCD 6 33ページ) で記憶させた曲だけを再生することができます。

1 リピートモードにして再生範囲を選ぶ

(☞ マルチCD 9 30ページ)

選んだ再生範囲内でITS再生が行われます。

2 ITS再生モードにする

FUNCボタンを押して選ぶ

(☞ マルチCD 2 29ページ)



3 ITS再生をONにする

▲ボタンを押す (▼ボタンでOFF)



ITS再生が始まり、記憶させた曲だけが再生されます。

BAND/ESCボタンを押して、ファンクションモードを解除してください。



ITS再生中に表示されます。

メモ

手順1で選んだ再生範囲内に、記憶させた曲がない場合は、“ITS Empty”が約2秒間表示されて、ITS再生は行われません。

記憶させた曲を1曲ずつ記憶から消す

ITS消去 (1曲ごと)

記憶させた曲を1曲ずつ消すことができます。

1 ITS再生をONにする

(☞ マルチCD ⑦)

2 消去したい曲を再生する

◀または▶ボタンを押す

(☞ ここだけで④ 16ページ)

3 ITS入力モードにする

FUNCボタンを2秒以上押してから、FUNCボタンを押して選ぶ (☞ マルチCD ② 29ページ)



4 消去する

▼ボタンを押す



次に記憶されている曲

再生していた曲が記憶から消去され、次に記憶されている曲が再生されます。

BAND/ESCボタンを押して、詳細設定モードを解除してください。

メモ

現在の再生範囲内に記憶させた曲がなくなった場合は、“ITS Empty”が約2秒間表示されて、ITS再生がOFFになります。

記憶させた曲をCDごとに記憶から消す

ITS消去 (CDごと)

記憶させた曲をCDごとに消すことができます。

1 消去したいCDを再生する

▲または▼ボタンを押す

(☞ ここだけで④ 16ページ)

ITS再生がONになっているときは、ITS再生をOFFにしてください。(☞ マルチCD ⑦)

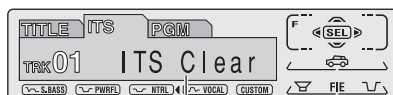
2 ITS入力モードにする

FUNCボタンを2秒以上押してから、FUNCボタンを押して選ぶ (☞ マルチCD ② 29ページ)



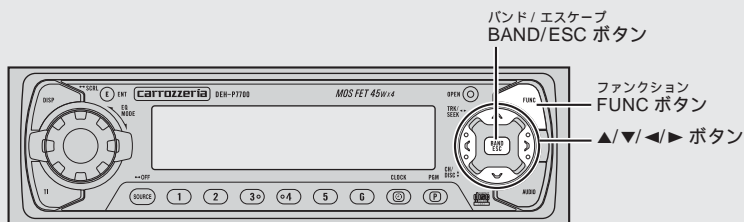
3 消去する

▼ボタンを押す



約2秒間表示され、消去されたことを知らせます。

BAND/ESCボタンを押して、詳細設定モードを解除してください。



マルチCD 10 CDのタイトルを記憶させる

タイトル記憶

CDのタイトルを表示させる (※マルチCD⑩ 38ページ) ために、あらかじめタイトルを記憶させておきます。

タイトル表示について

タイトル表示は、CDのタイトルを入力して記憶させておき、ディスプレイに表示させる機能です。

CDにタイトルをつけるとタイトルリスト (※ マルチCD⑩ 40ページ) で聞きたいICDをさがすこともできます。

「CD TEXT」に対応しているマルチCD (「CDX-P650」など) では、「CD TEXT」にあらかじめ収録されているCDのタイトルを見ながらタイトルリスト (※ マルチCD⑩ 40ページ) でCDをさがすことができます。

タイトルはカナやアルファベットで10文字まで入力できます。

タイトルは、ITS (※ マルチCD⑥ 33ページ) と合わせてCD100枚分の記憶ができます。

100枚を超えたときは、いちばん古いCDの記憶が消されて、新しいCDが記憶されます。

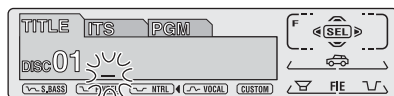
タイトルの記憶は、CDごとに行われます。CDを取り出しても消えません。そのCDを内蔵CDにセットしたとき、ディスプレイにタイトルを表示することができます。

1 タイトルを入力したいICDを再生する

▲または▼ボタンを押す
(※ ここだけで④ 16ページ)

2 タイトル入力モードにする

FUNCボタンを2秒以上押してから、FUNCボタンを押して選ぶ (※ マルチCD② 29ページ)



ご注意

「CD TEXT」に対応しているマルチ (「CDX-P650」など) に「CD TEXT」をセットしているときは、タイトル入力モードには切り換わりません。(「CD TEXT」に収録されているCDタイトルは変更できません。)

3 タイトルを入力する

入力する位置を選ぶとき

◀または▶ボタンを押して入力したい位置にカーソルを移動させる

- ▶ : 右に移動させるとき
- ◀ : 左に移動させるとき



入力する位置でカーソルが点滅します。10文字まで入力できます。

入力する文字を選ぶとき

▲または▼ボタンを押す

- ▲ : 次の文字を選ぶとき
- ▼ : 前の文字を選ぶとき



選んだ文字の種類が表示されます。

押すボタン	選べる文字
1ボタン (1ボタンを押すごとに切り換わります。)	アルファベットの小文字 (a~z) 空白 (_)
2ボタン	アルファベットの大文字 (A~Z) 数字 (0~9) 記号 (! " # など) 空白 (_)
3ボタン (3ボタンを押すごとに切り換わります。)	カタカナ (ア~ン) ハイフン (-) 空白 (_) 拗促音、濁点、半濁点 (アイウエオヤユヨツ °) 空白 (_)

4 入力が終わったら 10文字目を点滅させる



余ったところを空白にして、10文字目を点滅させます。

5 入力したタイトルを記憶する

▶ボタンを押す



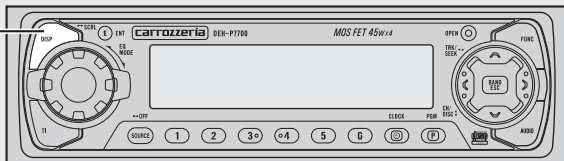
入力位置の点滅が終わり、入力したタイトルが記憶されます。

BAND/ESCボタンを押して、詳細設定モードを解除してください。

メモ

タイトル入力中 (文字が点滅しているとき) に BAND/ESCボタンを押すと、詳細設定モードが途中で解除されます。(この場合、入力中のタイトルは記憶されません。)

ディスプレイ
DISP ボタン



マルチCD
11

CDのタイトルを 表示させる

ディスクタイトル表示

タイトル入力 (P.36 マルチCD 36ページ) で
入力したCDのタイトルを表示させることが
できます。

1 表示を切り換える

DISPボタンを押す

ボタンを押すごに次のように切り換わります。

再生経過時間表示 A



タイトル表示



入力したタイトル

再生経過時間表示 B



再生経過時間表示 Aに戻る

メモ

タイトルが入力されていないCDで表示を切り換えると、「NO TITLE」が表示されます。

マルチCD
12

「CD TEXT」のタイトル や歌手名を表示させる

タイトル表示/タイトルスクロール

「CD TEXT」に対応しているマルチCD (「CDX-P650」など) に「CD TEXT」をセットしたとき、ディスクタイトル (ディスク名) ディスクアーティスト (歌手名) などを表示させることができます。一度に全角で8文字、半角で16文字表示することができます。また、隠れている文字も順に表示させることができます。

チェック 「CD TEXT」に対応しているマルチCDプレーヤー (「CDX-P650」など) の機能です。

「CD TEXT」について

「CD TEXT」とは、CDのタイトル/歌手名/曲名などの文字情報が収録されたCDです。ディスクタイトル面に下記マークのついているCDは、「CD TEXT」です。(下記マークが付いていない「CD TEXT」もあります。)



本機はカナやアルファベットなどの半角文字だけでなく、ひらがなや漢字などの全角文字にも対応しています。「CD TEXT」に漢字などの全角文字の情報が収録されている場合でも、本機ではそのまま表示することができます。

表示をDisc Title (ディスク名)、Track Title (曲名) などに切り換えたときに、自動的に1回スクロール表示します。

表示切り換え

1 表示を切り換える

DISPボタンを押す
ボタンを押すごとに次のように切り換わります。
再生経過時間表示 A

ディスクタイトル (ディスク名)

ディスクアーティストネーム (歌手名)

トラックタイトル (曲名)

トラックアーティストネーム (歌手名)

再生経過時間表示 B

再生経過時間表示 Aに戻る

例) ディスクタイトル表示



再生中の「CD TEXT」に記憶されているディスクタイトルが表示されます。

隠れている文字を表示する

1 隠れているタイトルを表示する

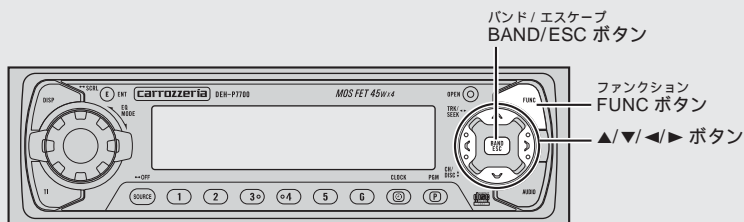
DISPボタンを2秒以上押す



隠れている文字が順に表示されます。

メモ

トラックアーティストネーム (歌手名) などが記憶されていないCDで表示を切り換えると、“NO T-Artist Name” などが表示されます。



マルチCD
13

タイトルを見て聞きたいCDをさがす

タイトルリスト

CDのタイトルを見ながら、聞きたいCDを選ぶことができます。

1 タイトルリストモードにする

FUNCボタンを押して選ぶ
(マルチCD ② 29ページ)



3 選んだCDを再生する

▲ボタンを押す



選んだCDが再生されます。

2 聞きたいCDを選ぶ

◀または▶ボタンを押す

- ▶ : 次のCDのタイトルを表示させるとき
- ◀ : 前のCDのタイトルを表示させるとき



記憶されているタイトルが表示されます。
また、そのCDのCD番号が点滅します。

CD再生を一時停止することができます。

1 ポーズモードにする

FUNCボタンを押して選ぶ

(▶ マルチCD 29ページ)



2 CD再生を一時停止する

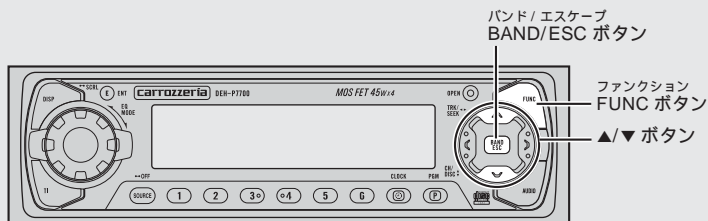
▲ ボタンを押す (▼ ボタンで再生)



BAND/ESCボタンを押して、ファンクションモードを解除してください。



一時停止中に表示されます。



マルチCD 15 CDの音質を調整する

COMP / DBE

大きな音と小さな音の音量差を小さくしたり、低音域を押し上げたりすることができます。

チェック COMP/DBE機能の付いたマルチCDプレーヤーで操作できます。

COMPについて

COMPとは、Compression (コンプレッション) の略です。大きな音を抑え、小さな音を押し上げて、大きな音と小さな音の音量差を小さくする機能です。この機能は、小さな音が聞きとりにくいようなときにお使いになると便利です。

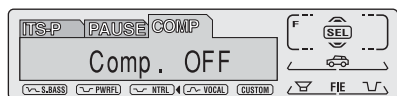
DBEについて

DBEとは、Dynamic Bass Emphasis (ダイナミックバスエンファシス) の略です。DBEは、車内で不足しがちな低音域を押し上げる機能です。

1 COMP切り換えモードにする

FUNCボタンを押して選ぶ

(マルチCD ② 29ページ)



現在のCOMP/DBEの状態が表示されます。

ご注意

COMP/DBE機能のないマルチCDを組み合わせたときは、“No Comp.”が表示されて、操作できません。

2 機能を選ぶ

▲または▼ボタンを押す

ボタンを押すごとに次のように切り換わります。

Comp. OFF

Comp. 1 (コンプレッション1)

Comp. 2 (コンプレッション2)

Comp. OFF

DBE 1

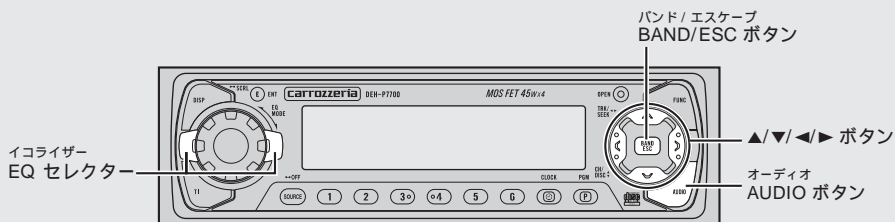
DBE 2

最初のComp. OFFに戻る

BAND/ESCボタンを押して、ファンクションモードを解除してください。

メモ

COMP、DBEともに1より2の方が効果が大きくなります。



音の調節 1 瞬時に音量を小さくする

アッテネーター

車内の会話が聞き取りにくいときに、瞬時に音量を小さくすることができます。

1 瞬時に音量を小さくする

リモコンのATTボタンを押す

(☞ はじめに ① 6ページ)

ボタンを押すごとにON/OFFします。



アッテネーターがONのときに点滅します。

アッテネーターがONのときは、音量が約1/10になります。

音の調節 2 イコライザーカーブを選ぶ

あらかじめ用意されたイコライザーカーブの中からお好みのイコライザーカーブを選ぶことができます。

1 イコライザーカーブを切り換える

EQセクターを上下に動かす



EQセクターを上下に動かすと次のように切り換わります。

POWERFUL SUPER BASS

NATURAL FLAT

VOCAL CUSTOM
(☞ 音の調節 ⑩ 52ページ)

メモ

“CUSTOM”には、お好みに合わせて調節したイコライザーカーブがソースごとに記憶されます。交通情報 (☞ その他 ⑤ 58ページ) を受信しているときは、イコライザー調節モードには切り換わりません。

オーディオ調節モードの切り換えかた

音を調節するときは、オーディオ調節モードを切り換えて操作します。

1 オーディオ調節モードを切り換える

AUDIOボタンを押す
ボタンを押すごとに次のように切り換わります。
音量バランス調節モード
(E音の調節③ 46ページ)

イコライザー調節モード
(E音の調節⑩ 52ページ)

ラウドネスモード (E音の調節④)

サブウーファーモード (E音の調節⑦ 48ページ)

サブウーファー調節モード
(E音の調節⑦ 48ページ)

ノンフェーディングモード
(E音の調節⑨ 51ページ)

ノンフェーディング調節モード
(E音の調節⑨ 51ページ)

ハイパスフィルターモード
(E音の調節⑧ 50ページ)

FIEモード (E音の調節⑮ 55ページ)

SLAモード (E音の調節⑫ 54ページ)

音量バランス調節モードに戻る

メモ

オーディオ調節モードを解除するには、BAND/ESCボタンを押します。(約30秒間、何も操作しなかったときも、自動的に解除されます。)
ノンフェーディングモードは、サブウーファーコントロールの設定を“S.W Control:EXT”にしているときだけ切り換わります。また、ノンフェーディングモードをONにしているときだけノンフェーディング調節モードに切り換わります。
サブウーファーモードは、サブウーファーコントロールの設定を“S.W Control:EXT”以外にしているときだけ切り換わります。また、サブウーファーモードをONにしているときだけサブウーファー調節モードに切り換わります。
ラジオのFM放送を聞いているときは、SLAモードには、切り換わりません。
リアスピーカー出力の設定を“Rear SP:S.W”にしているときは、FIEモードには切り換わりません。
ハイパスフィルターモードとFIEモードを同時にONにすることはできません。

小音量時の音にメリハリをつける

ラウドネス

小さな音量で聞いているときの、低・高音の不足感を補正して、メリハリのある音にすることができます。

1 ラウドネスモードにする

AUDIOボタンを押して選ぶ
(E音の調節③)



2 ラウドネスをONにする

▲ボタンを押す (▼ボタンでOFF)



ラウドネスがONのときに表示されます。

3 ラウドネスの効果を選ぶ

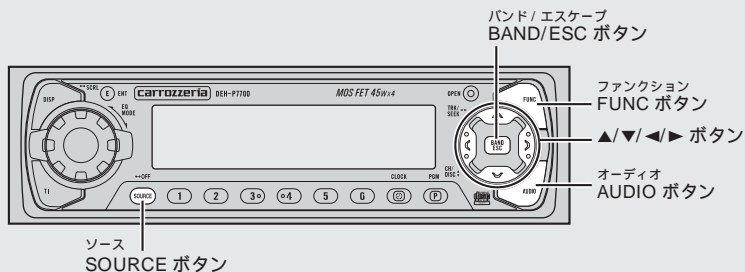
◀または▶ボタンを押す

- ▶: 効果を大きくするとき
- ◀: 効果を小さくするとき



Low (弱)、Mid (中)、High (強)の中から選ぶことができます。

BAND/ESCボタンを押して、オーディオ調節モードを解除してください。

音の調節
5

前後左右の音量バランスを調節する

フェーダー / バランス

前後左右のスピーカーの音量バランスを調節することができます。

1 音量バランス調節
モードにする

AUDIOボタンを押して選ぶ

(音の調節 ③ 45ページ)



2 音量バランスを調節する

前後を調節する

▲または▼ボタンを押す

▲: 前を強めるとき

▼: 後ろを強めるとき



前後のバランスはF15 ~ R15の範囲で調節できます。

左右を調節する

◀または▶ボタンを押す

▶: 右を強めるとき

◀: 左を強めるとき



左右のバランスはL9 ~ R9の範囲で調節できます。

BAND/ESCボタンを押して、オーディオ調節モードを解除してください。

メモ

リアスピーカー出力の設定を“Rear SP:S.W”にしたときは、前後の音量バランスを調節することはできません。

サブウーファースの接続方法に合わせて設定する

サブウーファースの接続のしかたによって、「リアスピーカー出力の設定」や「サブウーファースコントロールの設定」を変える必要があります。接続方法に合わせて、下記の操作を行ってください。

本機のリアスピーカー端子にサブウーファースを接続した場合

1. 電源OFFにする
SOURCEボタンを1秒以上押す
2. リアスピーカー出力設定モードにする
FUNCボタンを2秒以上押してから、FUNCボタンで選ぶ
3. “Rear SP : S.W” にする
▼ボタンを押す (☞ その他⑩ 62ページ)
4. BAND/ESCボタンを押して、モードを解除する
5. 電源ONにする
SOURCEボタンを押す
6. サブウーファースモードにする
AUDIOボタンを押して選ぶ
7. “Sub-W1” をONにする
▲ボタンを押す

“Sub-W1” をONにすると位相は、自動的に“Normal” に設定されます。必要に応じて位相やカットオフ周波数やレベルを調節してください。(☞ 音の調節⑦ 48ページ)

RCA出力を使用し、外部アンプにサブウーファースを接続した場合

本機でサブウーファースを調節する場合

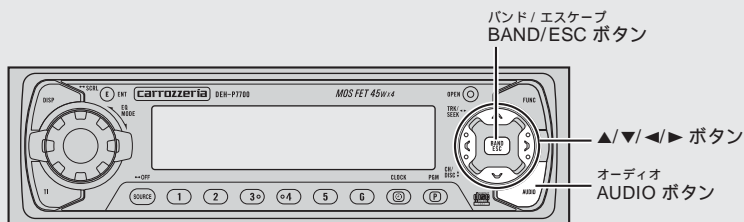
1. 電源OFFにする
SOURCEボタンを1秒以上押す
2. リアスピーカー出力設定モードにする
FUNCボタンを2秒以上押してから、FUNCボタンで選ぶ
3. “Rear SP : FULL” にする
▲ボタンを押す (☞ その他⑪ 63ページ)
4. “S.W Control : INT” にする
◀ボタンを押す
5. BAND/ESCボタンを押して、モードを解除する
6. 電源ONにする
SOURCEボタンを押す
7. “Sub-W1” をONにする
▲ボタンを押す

“Sub-W1” をONにすると位相は、自動的に“Normal” に設定されます。必要に応じて位相やカットオフ周波数やレベルを調節してください。(☞ 音の調節⑦ 48ページ)

外部アンプでサブウーファースを調節する場合

1. 電源OFFにする
SOURCEボタンを1秒以上押す
2. リアスピーカー出力設定モードにする
FUNCボタンを2秒以上押してから、FUNCボタンで選ぶ (☞ その他⑪ 63ページ)
3. “Rear SP : FULL” にする
▲ボタンを押す (☞ その他⑪ 63ページ)
4. “S.W Control : EXT” にする
▶ボタンを押す
5. BAND/ESCボタンを押して、モードを解除する
6. 電源ONにする
SOURCEボタンを押す
7. ノンフェーディングモードにする
AUDIOボタンを押して選ぶ
8. “Non Fad” をONにする
▲ボタンを押す

必要に応じてレベルを調節してください。(☞ 音の調節⑨ 51ページ)



音の調節

7

サブウーファーを使う

サブウーファー

本機では、リアスピーカー端子または、RCA出力端子にRCAコードを使って接続したサブウーファーの調節を行うことができます。

位相切り換えについて

サブウーファーから出力される音の中には、フロント/リアスピーカーから出力される音と同じ周波数帯域のものが含まれています。車内条件により、これらの音の位相どうしが反転（干渉）すると、その周波数帯域が打ち消し合ってしまうことがあります。この現象を防ぐものが、サブウーファーの位相切り換えです。車内条件によって、位相の正相（フロント/リアスピーカーと同時に出力される）が良いか、逆相（フロント/リアスピーカーとタイミングをずらして出力される）が良いかを選んで設定してください。

カットオフ周波数について

50、80、125（単位：Hz）から選んだ周波数以下の音域がサブウーファーから出力されます。

1 サブウーファーモードにする

AUDIOボタンを押して選ぶ

(音の調節 45ページ)



2 サブウーファーをONにする

▲ボタンを押す（▼ボタンでOFF）



サブウーファーがONのときに表示されます。

3 位相を切り換える

◀または▶ボタンを押す

- ◀ : Rev. (逆相)
- ▶ : Normal (正相)



Rev.とNormalに切り換えることができます。

4 サブウーファー調節モードにする

AUDIOボタンを押す

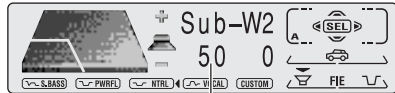


5 カットオフ周波数とレベルを調節する

周波数を選ぶとき

◀または▶ボタンを押す

- ▶ : 高い周波数を選ぶとき
- ◀ : 低い周波数を選ぶとき



周波数は50、80、125（単位：Hz）の中から選ぶことができます。

レベルを調節するとき

▲または▼ボタンを押す

- ▲ : レベルを大きくするとき
- ▼ : レベルを小さくするとき

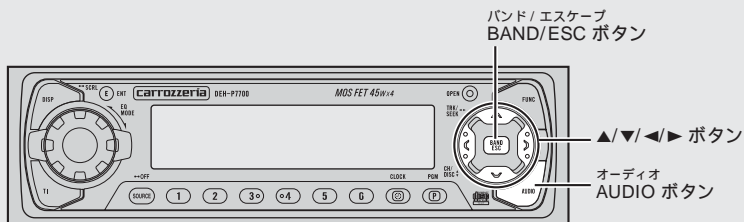


レベルは - 6 ~ + 6の範囲で調節できます。

BAND/ESCボタンを押して、オーディオ調節モードを解除してください。

メモ

サブウーファーコントロールを“S.W Control:EXT”にしたときは、サブウーファーモードには切り換わりません。
サブウーファーをOFFにしたときは、サブウーファー調節モードには、切り換わりません。

音の調節
8

低い音をスピーカーから出力させないようにする

ハイパスフィルター (HPF)

ハイパスフィルターをONにすると、選んだ周波数より低い周波数の音が各スピーカーから出力されなくなります。

ハイパスフィルター (HPF) について

ハイパスフィルターは、設定した周波数から下の音域 (低域) をカットして、高域を通すフィルターです。ハイパスフィルターをONにすることにより、サブウーファーとの音の強め合いや弱め合いなどを防ぐことができます。

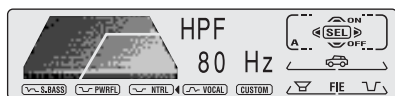
1 ハイパスフィルターモードにする

AUDIOボタンを押して選ぶ
(音の調節 45 ページ)



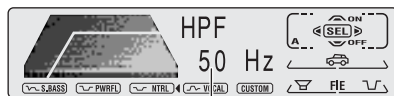
2 ハイパスフィルターをONにする

▲ボタンを押す (▼ボタンでOFF)

3 ハイパスフィルターの
カットオフ周波数を選ぶ

◀または▶ボタンを押す

- ▶ : 高い周波数を選ぶとき
- ◀ : 低い周波数を選ぶとき



50、80、125 (Hz) の中から選ぶことができます。

選んだ周波数より高い周波数の音だけが、各スピーカーから出力されます。

BAND/ESCボタンを押して、オーディオ調節モードを解除してください。

メモ

FIEをONにしているときは、ハイパスフィルターモードには切り換わりません。

外部アンプなどでサブウーファーを調節する

ノンフェーディング

本機のローパスフィルターを通さずに、源音のままRCA出力から音声信号を出力することができます。さらにその出力レベルを調節することができます。

1 ノンフェーディングモードにする

AUDIOボタンを押して選ぶ
(音の調節 ③ 45ページ)



2 ノンフェーディングをONにする

▲ボタンを押す (▼ボタンでOFF)



3 ノンフェーディング調節モードにする

AUDIOボタンを押す



4 レベルを調節する

▲または▼ボタンを押す

- ▲：レベルを大きくするとき
- ▼：レベルを小さくするとき

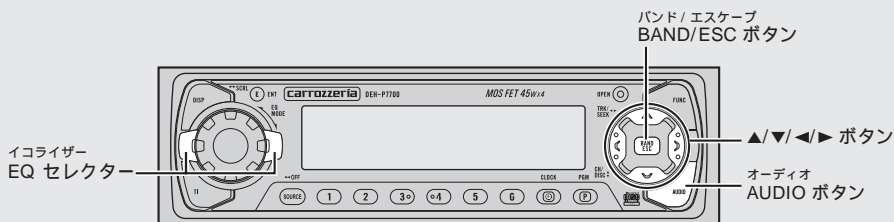


0~-15の範囲で調節できます。

BAND/ESCボタンを押して、オーディオ調節モードを解除してください。

メモ

サブウーファーコントロールを“S.W Control:EXT”にしたときだけ、ノンフェーディングモードに切り換わります。(その他 ① 63ページ)
ノンフェーディングをOFFにしたときは、ノンフェーディング調節モードには切り換わりません。ノンフェーディングのレベルは、初期設定時に最大値“0”で設定されています。

音の調節
10

お好みに合わせてイコライザーカーブを調節する

あらかじめ用意されたイコライザーカーブを調節することで、お好みの音質をつくることができます。

1 調節したいイコライザーカーブに切り換える

EQセクターを上下に動かす
(音の調節② 44ページ)

レベルを調節する

▲または▼ボタンを押す

▲：強めるとき

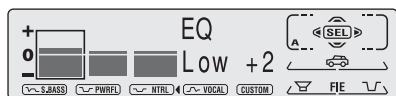
▼：弱めるとき

2 イコライザー調節モードにする

AUDIOボタンを押して選ぶ
(音の調節③ 45ページ)



-6 ~ +6の範囲で調節できます。



BAND/ESCボタンを押して、オーディオ調節モードを解除してください。

3 調節したいバンドを選んでレベルを調節する

バンドを選ぶ

◀または▶ボタンを押す



Low (低音) Mid (中音) High (高音)の中から選ぶことができます。

メモ

イコライザーカーブを調節すると、“CUSTOM”に記憶されます。

“CUSTOM”を選ぶには(音の調節② 44ページ)交通情報(その他⑤ 58ページ)を受信しているときは、イコライザー調節モードには切り換わりません。

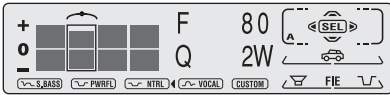
調節した内容は、ソースごとに記憶されます。なお、内蔵CDとマルチCD、1枚型MDとマルチMDおよびExternal1とExternal2は、同じ設定になります。

イコライザーカーブを細かく調節する

イコライザーカーブには3つのバンドがあり、バンドごとに中心周波数とQファクターを調節することができます。(調節した内容は、“CUSTOM”に記憶されます。)

1 イコライザーカーブ詳細設定モードにする

AUDIOボタンを2秒以上押す

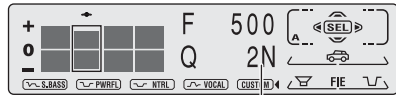


選んだバンドのQファクター (イコライザーカーブの傾き) を選ぶ

▲または▼ボタンを押す

▲：強めるとき

▼：弱めるとき



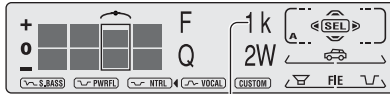
2N、1N、1W、2Wの中から選ぶことができます。

2 バンドを選んで中心周波数とQファクターを調節する

バンドを選ぶ

AUDIOボタンを押す

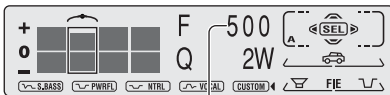
ボタンを押すごとにLow、Mid、Highが切り換わります。



表示 (中心周波数 [Hz])	選ばれているバンド
40、80、100、160のいずれか	Low
200、500、1k、2kのいずれか	Mid
3.15k、8k、10k、12.5kのいずれか	High

中心周波数を選ぶ

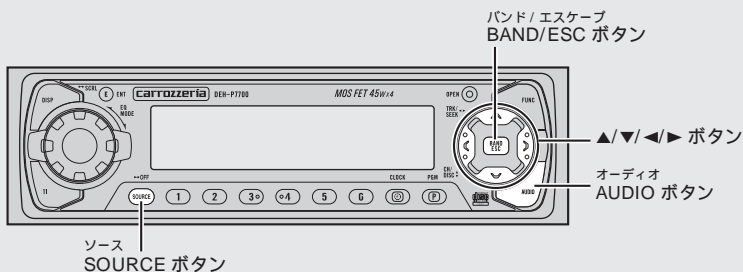
◀または▶ボタンを押す



選んだ周波数が表示されます。

メモ

交通情報 (電波) その他 (58ページ) を受信しているときは、イコライザーカーブ詳細設定モードには切り換わりません。



音の調節 12 各ソースの音量の違いをそろえる

SLA

ソースを切り換えたとき音量に違いが出ないように、FMの音量を基準にして各ソースの音量の違いをそろえることができます。

1 FM放送を受信し、FMの音量を確かめる

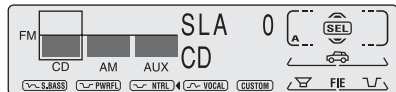
SOURCEボタンを押す
(ここだけで④ 14ページ)

2 調節したいソースに切り換える

SOURCEボタンを押す
(ここだけで① 10ページ)

3 SLAモードにする

AUDIOボタンを押して選ぶ
(音の調節③ 45ページ)

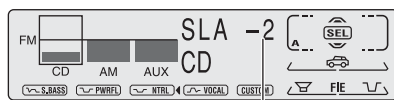


4 レベルを調節する

▲または▼ボタンを押す

▲：レベルを大きくするとき

▼：レベルを小さくするとき



-4 ~ +4の範囲で調節できます。

BAND/ESCボタンを押して、オーディオ調節モードを解除してください。

メモ

SLAとはSource Level Adjuster (ソースレベルアジャスター) の略です。

FM放送の音量を基準に他のソースとの音量差を調節するため、FM放送を聞いているときは、SLAモードに切り換えることはできません。

AM放送、テレビ、CD、MD、External (エクスターナルユニット)、AUX (外部機器) のそれぞれの音量差を調節することができます。なお、内蔵CDとマルチCD、1枚型MDとマルチMD、およびExternal1とExternal2、AM放送と交通情報 (その他③ 58ページ) は同じ設定になります。

前にステージがあるような感じにする

FIE

後ろのスピーカーの音を低音だけにして、後ろからではなく前から音が聞こえてくるようにすることができます。

1 FIEモードにする

AUDIOボタンを押して選ぶ

(音の調節 ④ 45ページ)



2 FIEをONにする

▲ボタンを押す (▼ボタンでOFF)



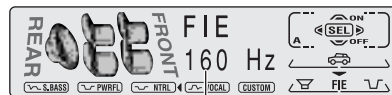
FIEがONときに表示されます。

3 FIEの周波数を選ぶ

◀または▶ボタンを押す

▶ : 高い周波数を選ぶとき

◀ : 低い周波数を選ぶとき



100、160、250 (Hz) の中から選ぶことができます。

選んだ周波数より低い周波数の音が、後ろのスピーカーから出力されます。

BAND/ESCボタンを押して、オーディオ調節モードを解除してください。

4 前後の音量バランスを調節する

(音の調節 ⑥ 46ページ)

FIEをONにすると、後ろのスピーカーの音が低音だけになりますので、前後のスピーカーのバランスが良くなるように調節してください。

ご注意

FIEをOFFにするときは、音量を小さくしてから行ってください。FIEをOFFにすると、後ろのスピーカーから低音以外の音も出力されるので、音量が急に大きくなります。

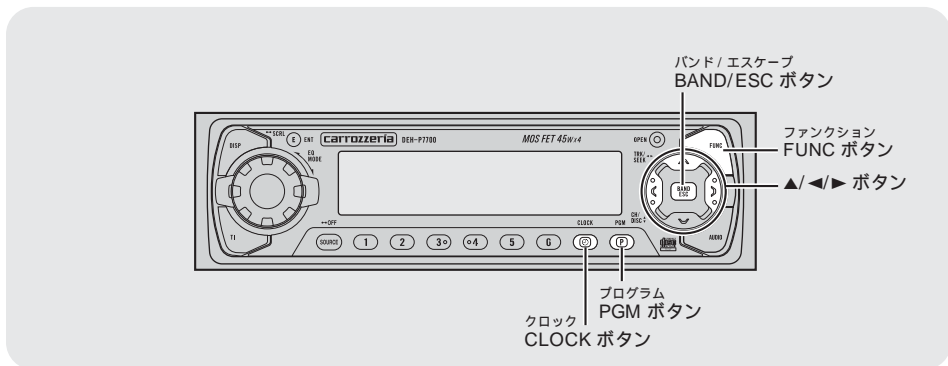
メモ

FIEとは、Front Image Enhancer (フロントイメージエンハンサー) の略です。

2スピーカーシステムをお使いの方は、FIEをOFFにしてください。

リアスピーカー出力の設定を“Rear SP:S.W”にしているときは、FIEモードには切り換わりません。

HPFをONにしているときは、FIEモードには切り換わりません。



その他 1 よく使う機能を学習させる

プログラムファンクション

よく使う機能をソースごとに、PGM ボタンに学習させることができます。学習させた機能は、モードを切り換えなくても操作できるようになります。(初期設定では、内蔵CDでポーズ、ラジオでBSM、マルチCDでポーズが学習されています。)

内蔵CDのとき

1 プログラムファンクション設定モードにする

FUNC ボタンを2秒以上押してから、FUNC ボタンを押して選ぶ



3 選んだ機能を学習させる

▲ ボタンを押す



点滅が止まり、選んだ機能が学習されます。

2 学習させたい機能を選ぶ

◀ または ▶ ボタンを押す
ボタンを押すごとに次のように切り換わります。



Pause (ポーズ)

Repeat (リピート)

Random (ランダム)

4 学習させた機能进行操作する

PGM ボタンを押す

(※ はじめに① 6 ページ)

学習させた機能により、操作方法が以下ようになります。

学習できる機能	押す	2秒以上押す
ポーズ	ON/OFF	----
リピート	ON/OFF	----
ランダム	ON/OFF	----

ラジオのとき

ラジオでは、初期設定のBSM以外の機能を学習させることはできません。PGM ボタンを押したときの動作は、以下のようになります。

学習できる機能	押す	2 秒以上押す
BSM	OFF	ON

マルチCD のとき

マルチCDで、プログラムファンクション設定モードにするには、FUNC ボタンを2秒以上押しして詳細設定モードにしてから、FUNC ボタンで選びます。(P. マルチCD 29 ページ) マルチCDで学習できる機能と、PGM ボタンを押したときの動作は、以下のようになります。

学習できる機能	押す	2 秒以上押す
ポーズ	ON/OFF	-----
リピート	切り換え	-----
ランダム	ON/OFF	-----
タイトルリスト	タイトルリスト モードになる	-----
ITS	記憶	再生

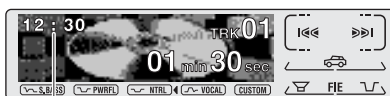
その他 2 時計を表示させる

時計表示

時計を表示させることができます。

1 時計を表示する

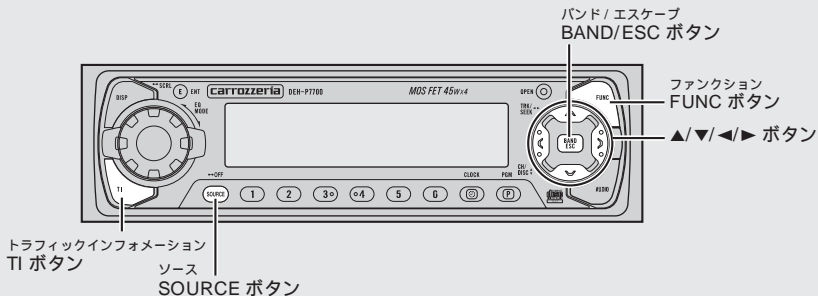
CLOCK ボタンを押す



ボタンを押すごとに、時計表示とソース名が切り換わります。

メモ

ディスプレイに時計を表示することができます。CLOCK ボタンを押すごとに時計表示がON/OFF します。フィーチャーデモの最中は、時計を表示することはできません。



3 その他 交通情報を受信する

AM 1,620 kHzまたは1,629 kHzの交通情報を、簡単に受信することができます。

1 交通情報を受信する

TI ボタンを押す



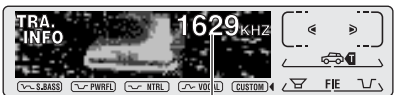
AM 1,620 kHzの交通情報を受信します。

2 放送に合わせて周波数を切り換える

◀または▶ ボタンを押す

▶ : 1,629 kHzにするとき

◀ : 1,620 kHzにするとき



受信周波数

3 交通情報の受信をやめる

TI ボタンを押す

交通情報を受信する前の状態に戻ります。

メモ

この機能は、電源がOFFのときでも、どのソースからでも操作できます。

交通情報を受信しているときに音量を調節すると、交通情報用の音量として設定することができます。交通情報を受信すると、自動的に交通情報用のイコライザーカーブに切り換わります。交通情報の受信をやめるとイコライザーカーブは、元の状態に戻ります。

交通情報を受信しているときは、イコライザー調節モードには切り換わりません。

初期設定モードの切り換えかた

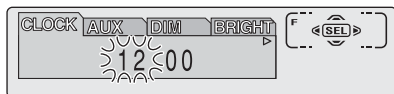
外部機器やディマーの設定をするときは初期設定モードを切り換えて操作します。

1 電源をOFFにする

SOURCE ボタンを1秒以上押す
(☞ ここだけで① 10ページ)

2 初期設定モードにする

電源がOFFのときに、FUNC ボタンを2秒以上押す



初期設定モードになります。

3 初期設定モードを切り換える

FUNC ボタンを押す
ボタンを押すごとに次のように切り換わります。

時計調節モード (☞ その他⑤)

AUX (外部機器) モード (☞ その他⑥ 60ページ)

ディマーモード (☞ その他⑧ 61ページ)

ブライトモード (☞ その他⑨ 62ページ)

リアスピーカー出力設定/サブウーファーコントロールモード (☞ その他⑩ ⑪ 62、63ページ)

ハンズフリーモード (☞ その他⑭ 64ページ)

TELスタンバイモード (☞ その他⑮ 65ページ)

モーションモード (☞ その他⑫ 63ページ)

時計調節モードに戻る

メモ

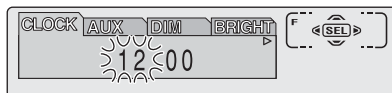
初期設定モードを解除するには、BAND/ESC ボタンを押します。(解除すると電源がOFFになります。) TELスタンバイモードは、ハンズフリーモードがOFFのときは切り換わりません。

時計を合わせる

時計を合わせることができます。

1 時計調節モードにする

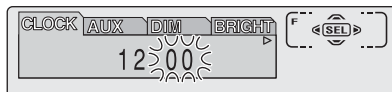
電源がOFFのときに、FUNC ボタンを2秒以上押す



2 時計の設定をする

時または分を選ぶ

◀または▶ ボタンを押す



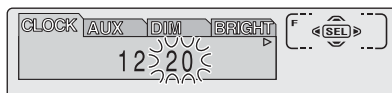
押すごとに時または分が切り換わります。

時刻を合わせる

▲または▼ ボタンを押す

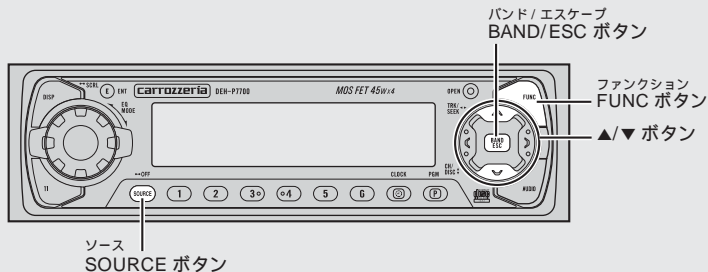
▲：時刻を進めるとき

▼：時刻を遅らせるとき



分を調節すると、0秒からカウントが始まります。

BAND/ESC ボタンを押して、初期設定モードを解除してください。



その他
6

外部機器の音声を聞く

AUX (外部機器) の設定

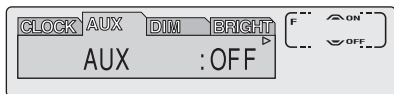
本機に DAT や VTR などの外部機器を接続すると、その音声を聞くことができます。

外部機器との接続について

別売の RCA/IP-BUS インターコネクター「CD-RB20」または「CD-RB10」を使うと、RCA 出力のある DAT や VTR を、外部機器として本機に接続することができます。詳しくは、RCA/IP-BUS インターコネクターの説明書をご覧ください。

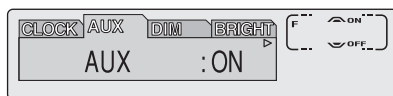
7 AUX (外部機器) モードにする

電源 OFF のときに FUNC ボタンを 2 秒以上押ししてから、FUNC ボタンを押して選ぶ
(E 37 その他 4 59 ページ)



2 AUX (外部機器) の設定を ON にする

▲ ボタンを押す (▼ ボタンで OFF)



BAND/ESC ボタンを押して、初期設定モードを解除してください。

3 ソースを AUX にする

SOURCE ボタンを押して選ぶ

(E 37 ここだけで 10 ページ)



ソースを AUX に切り換えると、外部機器の音声が出力されます。

その他
7

外部機器の名称を入力する

接続した外部機器の名称を入力することができます。

1 ソースをAUXにする

SOURCE ボタンを押して選ぶ

(※ ここだけで① 10 ページ)



2 外部機器の名称入力モードにする

FUNC ボタンを2秒以上押す



3 外部機器の名称を入力し、記憶させる (※ マルチCD⑩ 36 ページ)

CDタイトル入力の手順3～5を参照し、同様の操作で外部機器の名称を記憶させてください。

例) “DAT” を入力した場合



“AUX” の表示のかわりに、入力した名称が表示されます。

その他
8

夜間のディスプレイの明るさを切り換える

ディマーの設定

夜間、周囲が暗くなったときにディスプレイがまぶしくならないように、車のライトをONにするとディマーが働き、ディスプレイが暗くなります。

1 ディマーモードにする

電源OFFのときにFUNCボタンを2秒以上押ししてから、FUNCボタンを押して選ぶ

(※ その他④ 59 ページ)



2 ディマーの設定をONにする

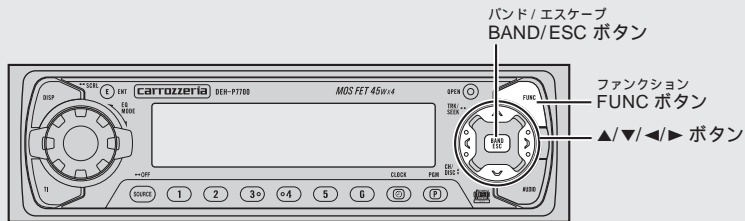
▲ ボタンを押す (▼ ボタンでOFF)



BAND/ESC ボタンを押して、初期設定モードを解除してください。

メモ

車のライトをONにしてディマーが働いているときでも、ブライトモードでディスプレイの明るさを“0”に調節しているときは、ディスプレイの明るさを変えることはできません。



その他
9

ディスプレイの明るさを調節する

ブライツ

ディスプレイの明るさを調節することができます。

1 ブライツモードにする

電源OFFのときにFUNCボタンを2秒以上押ししてから、FUNCボタンを押して選ぶ
(☞ その他 59 ページ)



2 明るさを調節する

◀または▶ボタンを押す

- ▶ : 明るくしたいとき
- ◀ : 暗くしたいとき



0 ~ 15の範囲で調節できます。

BAND/ESCボタンを押して、初期設定モードを解除してください。

その他
10

リアスピーカーの出力方法を変える

リアスピーカー出力の設定

リアスピーカー端子に接続するスピーカーの種類が選べます。フルレンジスピーカーを接続する場合は、“Rear SP: FULL”に切り換えます。また、サブウーファーを接続する場合は、“Rear SP: S.W”に切り換えます。

1 リアスピーカー出力設定モードにする

電源OFFのときにFUNCボタンを2秒以上押ししてから、FUNCボタンを押して選ぶ
(☞ その他 59 ページ)



2 スピーカー出力方法を選ぶ

- ▲または▼ボタンを押す
- ▲ : Rear SP: FULL (フルレンジのとき)
- ▼ : Rear SP: S.W (サブウーファーのとき)



BAND/ESCボタンを押して、初期設定モードを解除してください。

メモ

“S.W Control: EXT”を選んだときは、サブウーファーコントロールの設定はできません。
“S.W Control: EXT”から“Rear SP: S.W”に切り換えるとノンフェーディングの設定は、リセットされます。

サブウーファースの調節先を選ぶ

サブウーファーコントロールの設定

RCA出力にサブウーファーを接続する場合、本機のオーディオ調節モードでサブウーファーを調節する“S.W Control:INT”と、外部アンプでサブウーファーを調節する“S.W Control:EXT”が選べます。

1 リアスピーカー出力を“Rear SP:FULL”にする (F 59 その他⑩)



2 調節先を選ぶ

◀ または ▶ ボタンを押す

- ◀ : S.W Control:INT (本機で調節するとき)
- ▶ : S.W Control:EXT (外部アンプで調節するとき)



BAND/ESCボタンを押して、初期設定モードを解除してください。

メモ

サブウーファーコントロールの設定を“S.W Control:EXT”にしたときは、オーディオ調節モードでノンフェーディングの設定を行ってください。サブウーファーコントロールの設定を切り換えるとオーディオ調節モードで行ったノンフェーディングの設定は、リセットされます。

サブウーファーコントロールの設定を“S.W Control:INT”にしたときは、本機のオーディオ調節モードでサブウーファーを調節してください。サブウーファーコントロールの設定を切り換えるとオーディオ調節モードで行ったサブウーファーの設定は、リセットされます。

背景の設定をする

モーション

ディスプレイに表示されるソース画面の背景の動画をON/OFFすることができます。OFFにすると、ソースのオープニングアニメーションを表示後しばらくすると背景が消えます。

1 モーションモードにする

電源OFFのときにFUNCボタンを2秒以上押ししてから、FUNCボタンを押して選ぶ (F 59 その他④ 59 ページ)

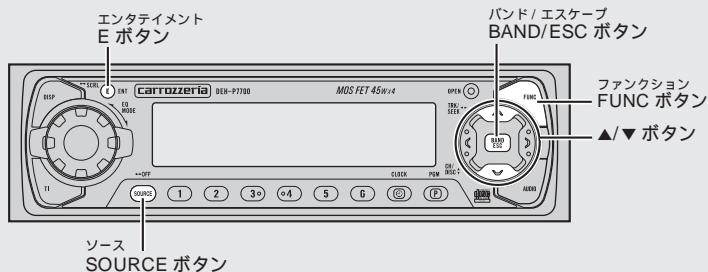


2 モーションの設定する

▲ ボタンを押す (▼ ボタンでOFF)



BAND/ESCボタンを押して、初期設定モードを解除してください。



その他
13

エンタテインメントを表示させる

エンタテインメント表示

音楽などを聞いているときに、ディスプレイの表示をエンタテインメント表示に切り換えることができます。車内で、いろいろな表示を楽しむことができます。

エンタテインメント表示について

エンタテインメント表示は、音楽などを聞いているときに、ディスプレイにいろいろな動画などを表示する機能です。

1 エンタテインメントを表示する

E ボタンを押す

ボタンを押すごとに次のように切り換わります。

再生経過時間

スペクトラムアナライザーモード1

スペクトラムアナライザーモード2

ムービースクリーンモード1(アクアティックブルー)

ムービースクリーンモード2(ナスカ)

再生経過時間に戻る

その他
14

携帯電話のハンズフリー機能について

ハンズフリー

別売のパイオニア製ハンズフリーキット「CD-HF1」を本機と組み合わせると、携帯電話の着信に合わせ、聞いているソースの音声にミュートがかかります。電話に出るとハンズフリーで通話することができます。相手先の音声は、スピーカーから出力することができます。

1 ハンズフリーモードにする

電源OFFのときにFUNCボタンを2秒以上押ししてから、FUNCボタンを押して選ぶ
(☞ その他 59 ページ)



2 ハンズフリーモードをONにする

▲ ボタンを押す (▼ ボタンでOFF)



BAND/ESCボタンを押して、初期設定モードを解除してください。

ラジオやCDを聞いていないときでも電話の待ち受けを可能にします。

1 TELスタンバイモードにする

電源OFFのときにFUNCボタンを2秒以上押ししてから、FUNCボタンを押して選ぶ

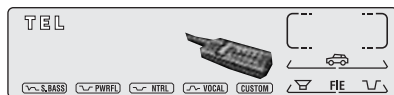
(☞ その他④ 59ページ)



BAND/ESCボタンを押して、初期設定モードを解除してください。

2 ソースをTELスタンバイにする

SOURCEボタンを押して選ぶ (☞ ここだけで① 10ページ)



ソースをTELスタンバイにすると電話の待ち受けをすることができます。

メモ

TELスタンバイモードを▲/▼ボタンでON/OFFすることができます。TELスタンバイをOFFにすると、携帯電話の待ち受けをすることができなくなります。

ミュート機能のある製品 (パイオニア製ナビゲーションシステム「AVIC-D9000」など) と本機を組み合わせると、その製品からミュート信号を受け取っているときだけ、ミュート機能が働きます。ミュート機能が働いているときの音量は“0”です。

ミュート機能が解除されると、自動的にもとの音量に戻ります。

メモ

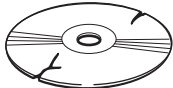
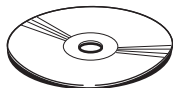
ハンズフリーモードがOFFのときにミュート機能として働きます。

使用できるCDについて

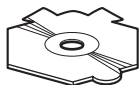
下記マークの付いているコンパクトディスク（光学式デジタルオーディオディスク）をご使用ください。



ひび、キズ、そのあるCDは使用しないでください。



特殊形状のディスクは、使用しないでください。故障の原因になります。

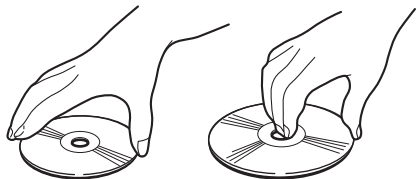


CDレコーダーで記録したCD-Rディスクは、ディスクの特性やキズ・汚れ、または本体内部のレンズの汚れ・露などにより、本機では再生できない場合があります。

CD-Rディスクの取り扱いについては、ディスクの説明書や注意書きを十分お読みください。

取り扱い上のご注意

CDは、下図のように、信号記録面（虹色に光っている面）をさわらないように持ってください。



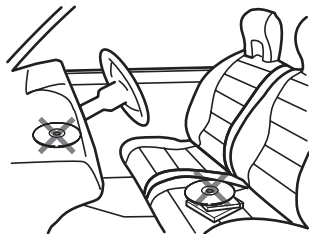
CDにキズを付けないでください。

CDにシールなどを貼り付けしないでください。



保管上のご注意

直射日光の当たるところや高温になるところには、CDを保管しないでください。



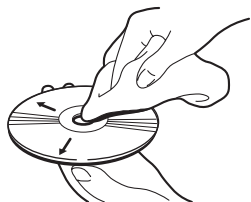
CDがそらないように、必ずケースに入れて保管してください。

メモ

製品設計上配慮していますが、機構上あるいは使用環境・ディスクの取り扱いなどにより、ディスク面に実使用上支障のない程度のキズが付くことがあります。これは、製品の故障ではありません。一般的な消耗としてご理解ください。

お手入れについて

CDが汚れたときは、柔らかいきれいな布でCDの内周から外周方向へ軽くふいてください。



アナログ式レコード用のクリーナー、静電気防止剤などは使用しないでください。またベンジンやシンナーなどの揮発性の薬品をかけないでください。



当社では、CD用のクリーニングキット「JV-D11」を別売しています。カーステレオ販売店でお買い求めください。

CD再生の環境について

走行中、振動のショックで音飛びを起こすことがあります。

寒いとき、ヒーターを入れた直後にCD再生を始めると、本機内部の光学系レンズやCDに露が生じて、正常な再生ができないことがあります。

このようなときは、1時間ほど放置して自然に露がとれるのをお待ちください。CDに付いた露は柔らかい布でふいてください。

故障かな？
と思ったら
修理を依頼される前に、
次の表の内容をチェック
してください。



チェックしても
直らないときは
保証書とアフターサービ
ス (P. 72) (その他 P. 72 ページ)
をお読みになり、修理を
依頼してください。

共通項目

症 状	原 因	処 置
電源が入らない。 動作しない。	各リード線やコネクタが 正しく接続されていない。	正しく確実に接続されているかどうか、 もう一度確認してください。 (P. 取付説明書)
	ヒューズが切れている。	ヒューズが切れた原因を解決し、切れた のと同じ容量のヒューズと交換してくだ さい。(P. 取付説明書)
音が出ない。 音が小さい。	音量を下げている。	音量を上げてください。 (P. ここだけで ② 12 ページ) (P. ここだけで ③ 14 ページ) (P. ここだけで ④ 16 ページ)
	アッテネーターが ON に なっている。	アッテネーターを解除してください。 (P. 音の調節 ① 44 ページ)
	前後の音量バランスの調節 が適切でない。	正しく調節してください。 (P. 音の調節 ⑤ 46 ページ)
前または後ろのスピーカ ーから音が出ない。	前後の音量バランスの調節 が適切でない。	正しく調節してください。 (P. 音の調節 ⑤ 46 ページ)
左または右のスピーカ ーから音が出ない。	左右の音量バランスの調節 が適切でない。	正しく調節してください。 (P. 音の調節 ⑤ 46 ページ)
ディスプレイが反転表示 する。	デモモードが ON になっ ている。	デモモードを OFF にしてください。 (P. はじめに ③ 8 ページ)

ラジオ


症 状	原 因	処 置
ラジオの受信中、“ジー、ジー、ザーザー”という雑音が多い。	放送局の周波数が合っていない。	周波数を正しく合わせてください。 (☞ ここだけで③ 14 ページ)
	放送局の電波が弱い。	他の放送局を選局してみてください。 (☞ ここだけで③ 14 ページ)
	周りに障害物があるなど、受信状態が良くない。	受信状態が良くなると、雑音も少なくなります。
自動選局できない。	放送局の電波が弱い。	手動で選局してください。 (☞ ここだけで③ 14 ページ)

CD

症 状	原 因	処 置
CD再生中、大きな雑音が出る。 CDの再生が途中で止まる。 CDが自動的に出てくる。	CDに大きなキズやそりがある。	他のCDと交換してください。良くなればCDの不良です。
	CDが極端に汚れている。	CDの汚れをふき取ってください。 (☞ その他⑦ 66 ページ)
	CDにくもりや水滴がついている。	CDの曇りや水滴をふき取ってください。 (☞ その他⑦ 66 ページ)
	CDの裏表を逆にしてセットしている。	CDのタイトル面を上にしてセットしてください。(☞ ここだけで② 12 ページ)

こんなメッセージが表示されたら

CDを正常に再生できないときは、ディスプレイにエラーメッセージが表示されます。

メッセージ(エラー番号)	メッセージが表示されるとき	処 置
「ERROR-11」「ERROR-12」 「ERROR-17」「ERROR-30」	CDが汚れているとき。	CDの汚れをふき取ってください。 ( その他 17 66 ページ)
	CDにキズやひびがあるとき。	CDを交換してください。
「ERROR-14」	追記型CD (CD-R) を録音しないまま使用しているとき。	追記型CD (CD-R) は、録音してからお使いください。
「ERROR-10」「ERROR-11」 「ERROR-12」「ERROR-14」 「ERROR-17」「ERROR-30」 「ERROR-A0」	電気系、機構系の故障が考えられるとき。	車のエンジンスイッチを一度OFFにしてからONにするか、CD再生を一度やめてから、もう一度CD再生にしてください。
「HEAT」	本機の内部温度が高くなったとき。	内部温度が下がるまでお待ちください。

メモ

マルチCD再生中に、上記以外のエラー番号が表示されたときは、マルチCDの取扱説明書をご覧ください。

保証書

保証書は、ご購入年月日、販売店名などが記入されていることをお確かめのうえ、ご購入の際に販売店より受け取ってください。

保証書に記入もれがあったり、保証書を紛失したりすると、保証期間中でも保証が無効となります。記載内容をよくお読みのうえ、大切に保管してください。

保証期間

この製品の保証期間は、お買い上げの日より1年間です。

保証期間中の修理について

万一、故障が生じたときは、保証書に記載されている当社保証規定に基づき修理いたします。お買い上げの販売店またはお近くのパイオニアサービスステーションにご連絡ください。所在地、電話番号は本機に付属の「ご相談窓口・修理窓口のご案内」をご覧ください。

保証期間経過後の修理について

お買い上げの販売店またはお近くのパイオニアサービスステーションにご相談ください。修理すれば使用できる製品については、ご希望により有料で修理いたします。

補修用性能部品の最低保有期間

当社は、本機の補修用性能部品を、製造打ち切り後最低6年間保有しています。(性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。)

ご質問、ご相談は

本機に関するご質問、ご相談はパイオニアカスタマーセンターまたはお買い上げの販売店にお問い合わせください。

本機の操作の概要

本機の操作のまとめです。ひと通りの操作が終わった後、操作を忘れたときなどにお使いください。

ふだん使う機能の操作のしかた

ふだん使う機能は、▲/▼/◀/▶ ボタンおよびBAND/ESC ボタンで操作します。

聞いているソース 押すボタン	CD、MDを聞いているとき	ラジオ、テレビを聞いているとき
◀または▶ ボタン	選曲、早送り/早戻し	自動選局、手動選局
▲または▼ ボタン	再生するディスクの切り換え(マルチCD、マルチMDを接続している場合のみ)	記憶させた放送局の切り換え
BAND/ESC ボタン	—————	バンド (FM/AM) の切り換え

便利な機能の操作のしかた

ふだん使う機能以外は、オペレーションモードを切り換えて操作します。オペレーションモードには5つのモードがあり、次の手順で操作します。

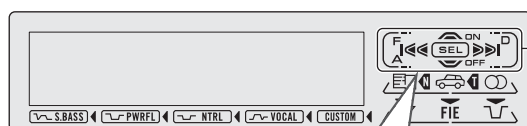
手 順	モード	ファンクション モード	詳細設定 モード	初期設定 モード	オーディオ 調節モード	イコライザー カーブ詳細 設定モード
1	それぞれの モードにする	FUNC ボタン を押す	FUNC ボ タンを2 秒以上 押す	電源がOFF のときに FUNC ボ タンを2秒以上 押す	AUDIO ボ タンを押す	AUDIO ボタ ンを2秒以上押す
2	機能を切り換える	FUNC ボタンを押す			AUDIO ボ タンを押す	AUDIO ボタ ンを押す(バンド切り 換え)
3	機能をON/OFFする または 項目を選ぶ	▲または▼ ボタンを押す				
		◀または▶ ボタンを押す				
4	それぞれの モードを解除する	BAND/ESC ボタンを押す				

それぞれのモードで操作できる機能について

- ファンクションモード** : 内蔵CDのリピート再生 (☞ 内蔵CD② 19ページ) やマルチCDのスキャン再生 (☞ マルチCD④ 31ページ) など、それぞれのソースの便利な機能进行操作できます。
- 詳細設定モード** : PGM (学習) ボタンの記憶 (☞ その他① 56ページ) やマルチCDのタイトル入力 (☞ マルチCD⑩ 36ページ) など、便利な機能の詳細を設定できます。
- 初期設定モード** : 外部機器 (☞ その他⑥ 60ページ) などの設定ができます。
- オーディオ調節モード** : フェーダー/バランス (☞ 音の調節⑤ 46ページ) など、音質に関する調節ができます。
- イコライザーカーブ** : イコライザーカーブを細かく調節できます。
詳細設定モード (☞ 音の調節① 53ページ)

ガイド表示について

本機の操作を行っているとき、ディスプレイを見て操作ができるように、ディスプレイにガイド表示が出ます。



FUNC、AUDIO、▲/▼/◀/▶ ボタンの中で、操作可能なボタンが表示されます。

表示の例	内容
	▲/▼/◀/▶ ボタンで操作できます。
	▲または▼ボタンで機能のON/OFFができます。また、AUDIOボタンで機能を切り換えることができます。
	◀または▶ボタンで項目を選ぶことができます。また、FUNCボタンで機能を切り換えることができます。

CD プレーヤー部

形式 : コンパクトディスク
オーディオシステム
使用ディスク : コンパクトディスク
信号
フォーマット : サンプル周波数 : 44.1 kHz
量子化ビット数 : 16 ビット直線
周波数特性 : 5 ~ 20,000 Hz (± 1 dB)
S/N : 94 dB (1 kHz)
(IHF-A ネットワーク)
ダイナミック
レンジ : 92 dB (1 kHz)
チャンネル数 : 2 (ステレオ)

FM チューナー部

受信周波数帯域 : 76.1 ~ 89.9 MHz
実用感度 : 9 dBf (0.8 μV/75 、
モノラル、S/N : 30 dB)
S/N 50 dB
感度 : 14 dBf
(1.4 μV/75 、モノラル)
S/N : 70 dB (IHF-A ネットワーク)
高調波歪率 : 0.3 %
(65 dBf 入力、1 kHz、ステレオ)
周波数特性 : 30 ~ 15,000 Hz (± 3 dB)
ステレオ
セパレーション : 40 dB (65 dBf 入力、1 kHz)

AM チューナー部

受信周波数帯域 : 522 ~ 1,629 kHz (9 kHz)
実用感度 : 18 μV (S/N : 20 dB)
実効選択度 : 50 dB (± 9 kHz)

アンプ・オーディオ部

最大出力 : 45 W × 4
45 W × 2ch/4 + 70 W × 1ch/2
(for サブウーファー)
定格出力 : 22 W × 4
(50 ~ 15,000 Hz、5 % THD)

イコライザー (3 バンド)

パラメトリック
イコライザー : (LOW)
周波数 : 40/80/100/160 Hz
Qファクター : 0.35/0.59/0.95/1.15
(+6 dB ブースト時)
調整幅 : ± 12 dB
(MID)
周波数 : 200/500/1K/2K Hz
Qファクター : 0.35/0.59/0.95/1.15
(+6 dB ブースト時)
調整幅 : ± 12 dB
(HIGH)
周波数 : 3.15K/8K/10K/12.5K Hz
Qファクター : 0.35/0.59/0.95/1.15
(+6 dB ブースト時)
調整幅 : ± 12 dB

ラウドネス

コンター : LOW : 3.5 dB (100 Hz)
3 dB (10 kHz)
MID : 10 dB (100 Hz)
6.5 dB (10 kHz)
HIGH : 11 dB (100 Hz)
11 dB (10 kHz)
(ボリューム : - 30 dB)

ハイパス

フィルター : 周波数 : 50 Hz/80 Hz/125 Hz
スロープ : - 12 dB/oct.

サブウーファー

出力 : 周波数 : 50 Hz/80 Hz/125 Hz
スロープ : - 18 dB/oct.
ゲイン : ± 12 dB
位相 : NORMAL/REVERSE

負荷

インピーダンス : 4
(4 ~ 8 [2 for 1ch] 使用可能)

プリアウト

最大出力レベル : 4.0 V
出力
インピーダンス : 100

共通部

使用電源 : DC 14.4 V
(10.8 ~ 15.1 V 使用可能)
アース方式 : マイナスアース方式
最大消費電流 : 10.0 A
外形寸法
(取付寸法) : 178 (W) × 50 (H) × 162 (D) mm
(ノーズ寸法) : 170 (W) × 46 (H) × 14 (D) mm
質量 : 1.6 kg (コードユニット含まず)

付属品

コードユニット : 1
取付ネジ類 : 1 式
リモート
コントローラー : 1
単4形乾電池(R03) : 2
取扱説明書 : 1
取付説明書 : 1
安全上のご注意 : 1
保証書 : 1
ご相談窓口・
修理窓口のご案内 : 1

メモ

上記の仕様および外観は予告なく変更することがあります。また、この説明書中のイラストと実物が、一部異なる場合があります。

お客様ご相談窓口 (全国共通フリーフォン)

カスタマーサポートセンター

カーオーディオ / カーナビゲーション商品のお問い合わせ窓口

 0070-800-8181-11

カタログのご請求窓口

 0070-800-8181-33

< ご注意 > PHS、携帯電話、自動車電話、列車公衆電話、船舶電話、ピンク電話、および海外からの国際電話ではご利用になれません。あらかじめご了承ください。
修理に関しては、別添えの『ご相談窓口・修理窓口のご案内』をご参照ください。

ホームページでのカタログ請求とメールサービス登録のご案内
<http://www.pioneer.co.jp/support/ctlg.html>

パイオニア株式会社

〒153-8654 東京都目黒区目黒 1-4-1

この説明書は、再生紙を使用しています。

© パイオニア株式会社 1999

< 99L00F0J01 > < CRA2933-A/N >